

令和元年版

消防年報



足利市消防本部
(令和2年刊行)

足利市憲章

(昭和45年5月5日制定)

私たちは、自然にめぐまれ、はるかなる昔から文化がひらけていた学問のまち、産業のまち足利市を心から愛し、より美しく、より豊かにするためにこの憲章を定めます。

1. 足利市は日本最古の学校のあるまちです。

教養を深め、文化のかおり高いまちをつくり、すぐれた伝統をさらに発展させましょう。

1. 足利市は美しいまちです。

めぐまれた自然を愛し、清潔で健康なまちをつくりましょう。

1. 足利市は善意のまちです。

理解と信頼をもって、みんなのしあわせのためにお互いに助け合いましょう。

1. 足利市は希望にみちたまちです。

明るい家庭をつくり、次代をになうこどもに誇りと希望をもたせましょう。

1. 足利市は伸びゆくまちです。

しごとを愛し、みんなの創意で時代の進歩に調和した活気のあるまちをつくりましょう。

市の木・市の花

市の木 かえで

カエデ科、葉が掌状に裂け、秋美しく紅葉し、果実に翅（はね）がある落葉高木の総称

市の花 つつじ

ツツジ科のツツジ属のうち、ヤマツツジ、ミツバツツジ、レンゲツツジの類の総称

目 次

足利市のあらまし	1
足利市の消防機関配置図	2
足利消防のあゆみ	3
総 務 編	
消防組織	14
消防職員配置状況	14
消防職員年齢表	15
消防職員在職年数表	16
市総予算と消防予算（一般会計）	16
消防庁舎の現況	17
令和元年度主要事業	18
通信指令編	
通信指令施設等の現況	20
災害・予警報受理状況	21
消防通信指令施設系統図	24
予 防 編	
指定防火対象物数	25
建築物同意事務処理状況	26
消防用設備等検査数	26
中高層（4階以上）建物の現況	27
危険物施設の現況	27
貯蔵取扱倍数別危険物施設数	28
各種申請届出等事務処理状況	29
消防広報等実施状況	30
各種防火団体	31
警 防 編	
消防車両の配置状況	34
主な消防機器の配備状況	35
水防資器材一覧	37
山林火災器具	38
消防水利の現況	38
気象年報	39
火 災 編	
火災発生状況総括表	40
過去5年間の火災発生状況	41
地区別火災発生状況	42
分団別火災発生状況	43
出火原因別火災発生状況	44

救急編

救急出動件数（10年間の推移）	45
救急出動内訳（令和元年中）	45
月別事故種別救急出動件数	46
曜日別出動件数	47
時間別出動件数	47
覚知別出動件数	47
署別出動件数	48
地区別出動件数	48
年齢別搬送人員	49
事故種別・傷病程度別搬送人員	49
急病に係る疾病・傷病程度別搬送人員	50
救急隊員の行った応急処置件数	51
応急手当指導件数	51

救助編

救助出動及び活動状況	52
署別出動状況	52
月別出動状況	53

消防団編

消防団の組織	54
消防団員の在職年数及び年齢	55
分団詰所の現況	56
消防車両の配置状況	57

足利市のあらまし

沿革

足利市は、室町幕府を開いた足利氏の発祥の地として、また、日本最古の学校「足利学校」や足利氏ゆかりの「鑑阿寺」で象徴されるように、文化と史跡のまちとして知られ、上古の時代には、関東地方の政治上の重要地として栄え、奈良時代から“織物のまち足利”の名は文献にも明らかにされています。昭和初期にかけては、特産の「足利銘仙」が全国的に名を高め、戦後に至ってからは、トリコット産業が隆盛を極め、メリヤス、ニット製品などを含めた総合的な繊維産業のまちとして発展を遂げ、近年はアルミや機械金属、プラスチック工業などが中心となり、平成23年には北関東自動車道の全線開通により首都圏に近接した産地として成長しています。

また、平成30年4月に栃木県内では35年振りとなるJRの新駅「あしかがフラワーパーク駅」が誕生し、市外からのアクセス利便性が向上したことにより、国内外からの観光客も多く訪れる観光都市としてのまちづくりも進められています。

地勢

足利市は、関東平野の北方に連なる低山岳地帯と平野部の境にあって、日光市足尾町に源を発する渡良瀬川が市の中央部を東西に流れ、北には日光の男体山、西には赤城山や浅間山を望むことができ、南には広大な関東平野がひらける豊かな自然に恵まれたまちです。

また、東京から80kmの首都圏内にあり、東と北に佐野市、西は群馬県桐生市、南は群馬県館林市・邑楽郡邑楽町・太田市に隣接し、両毛経済圏のほぼ中心部にあります。

気候は比較的温和ですが、冬から春先にかけて“赤城おろし”とか“からつ風”などと呼ばれる、上州名物の強い北西の季節風が吹くことがあります。

地理的条件

面積	177.76km ²	東西	18.8km
		南北	19.1km
消防本部の位置	東 経 139度28分	北 緯 36度21分	

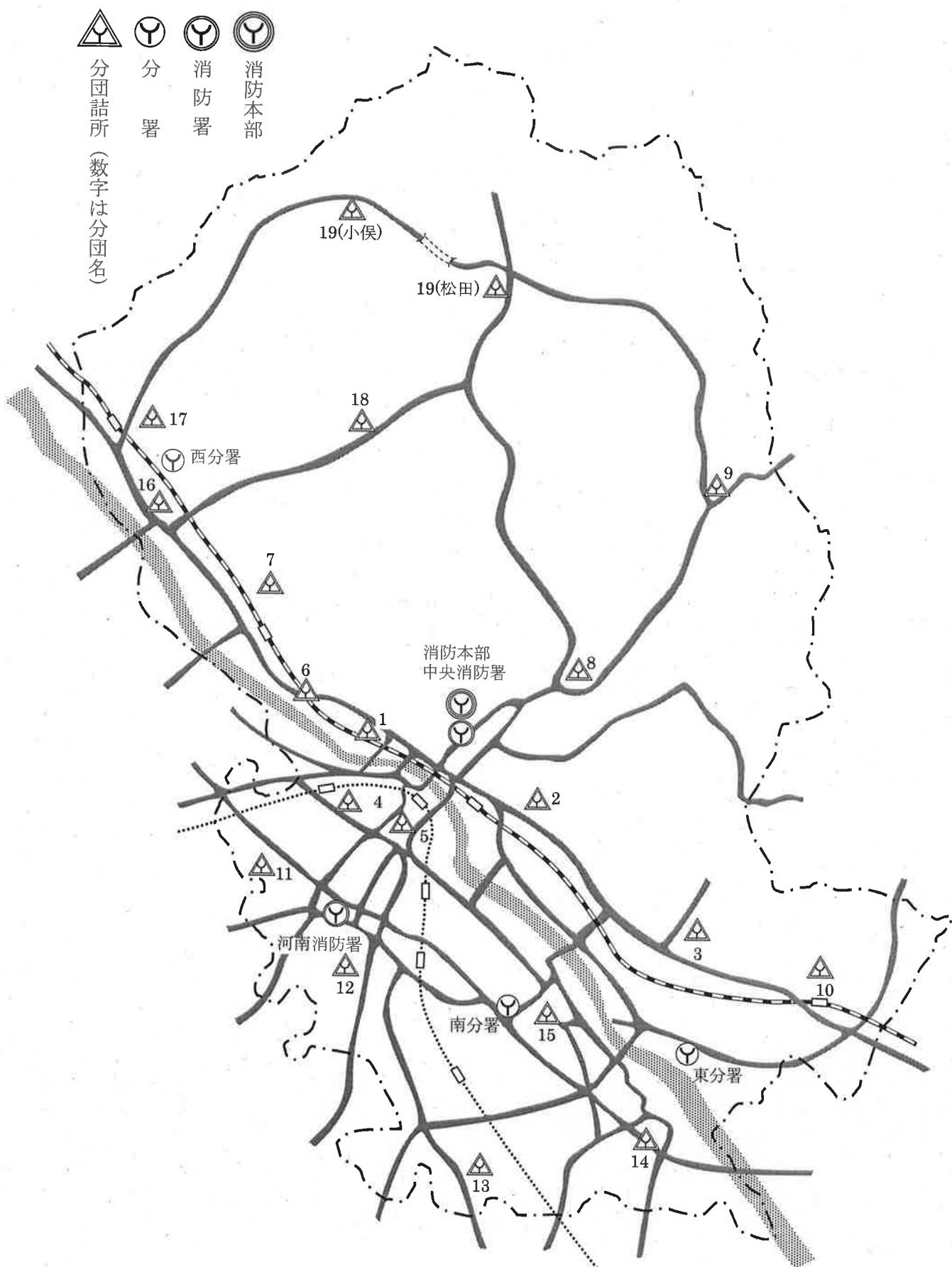
世帯数、人口（登録）

(各年4月1日現在)

年度 区分	人口			世帯数	1世帯当たり 人口	1km ² につき	
	計	男	女			人口	世帯数
平成28年	148,168	72,540	75,628	62,955	2.4	833	354
	3,669	1,940	1,729	2,070	1.8	21	12
	-	-	-	641	-	-	4
平成29年	146,891	71,951	74,940	63,107	2.3	826	355
	3,997	2,139	1,858	2,319	1.7	22	13
	-	-	-	637	-	-	4
平成30年	145,285	71,173	74,112	63,160	2.3	817	355
	4,435	2,402	2,033	2,652	1.7	25	15
	-	-	-	646	-	-	4
平成31年	143,608	70,461	73,147	63,249	2.3	808	356
	4,537	2,523	2,014	2,738	1.7	26	15
	-	-	-	646	-	-	4
令和2年	141,960	69,651	72,309	63,473	2.2	798	357
	4,995	2,854	2,141	3,164	1.6	28	18
	-	-	-	643	-	-	4

※上段／日本人、中段／外国人、下段／複数国籍となります。

足利市の消防機関配置図



足利消防のあゆみ

足利消防は、享保年間にその端を発したことが史実によって明確である。以下そのあゆみの大要は次のとおりである。

- 享保 20. はしご、水かご、手桶、鳶口等の消防装備を保有した。
- 明治 9. 雲竜水、竜吐水を保有した。
11. 4. 各地区単独の消防組織ができた。
19. 2. 足利町消防組規則が制定され消防組が組織された。
22. 4. 1 町制が施行された。
27. 2. 9 勅令第15号をもって消防組規則が公布され足利町消防組に改組し、腕用ポンプ10台が整備された。
5. 消防組は5部編成となり定員を500名とした。
44. 蒸気ポンプ1台を購入した。
- 大正元 蒸気ポンプ1台を増車した。
10. 1. 1 市制が施行された。
- 市制施行により足利市消防組と改称し定員を445名とした。
10. 手引ガソリンポンプ1台を購入した。
11. 手引ガソリンポンプ1台を増車した。
13. 手引ガソリンポンプ1台を増車した。
- 1カ年無火災につき足利警察署長から表彰された。
15. 9. 15 足利市消防組常設消防部が定員6名で開設された。
- 消防ポンプ自動車1台を初めて購入し、常備部へ配置した。
- 昭和 2. 消防組常備部に火の見櫓が建設された。火災専用電話を新設した。
3. 火災報知機新設工事を着手した。(工費22,250円)
4. 5. 4 火災報知機工事が完成した。(受信機1基・発信機65基)(市街地)
6. 4. 1 消防組常備部の定員6名を3名増員し9名とした。
- 消防ポンプ自動車1台を増車した。(常備部)
- 消防組を改組し定員445名を191名に減じた。
12. 2 財団法人大日本消防協会から優良消防組として旌旗が授与された。
8. 2. 11 県消防協会長から優良消防組として表彰された。
9. 9. 15 オート三輪自動車ポンプ1台を増車した。(第3部)
10. 消防組を改組し定員191名を186名に減じた。
12. 足利市警備係及び常備消防手の制限を制定した。
13. 4. 1 消防組常備部の定員を11名とした。
14. 3. 31 昭和14.1.24 勅令第20号をもって警防団令が公布され消防組及び防護団が廃止された。
4. 1 勅令をもって警防団令が公布されたのにともない足利市警防団を組織し、団長1・副団長2・分団長6・副分団長12・部長18・班長66・団員618・工作部30・救護部30・防毒部30・計813名とした。1箇分団の定員を120名として分団長1・副分団長2・部長3・班長11・団員103名で6箇分団編成とした。
16. 3. 25 大日本警防協会から優良警防団として表彰旗が授与された。
4. 1 消防組常備部の定員を14名とした。
5. 3 消防ポンプ自動車3台を購入した。(第3・4・5分団)
8. 14 消防ポンプ自動車3台を購入した。(第1・2・6分団)
9. 1 分団の定員120名をそれぞれ133名に増員した。
17. 2. 11 県知事から成績優秀な警防団として竿頭綬を授与された。

- 昭和 17. 5. 第2・3分団詰所を新築した。(通2丁目・伊勢町)
8. 市の行政機構を改革し、警防課を新設した。
8. 14 警防団常備部用救急自動車を配置した。
10. 12 警防団本部・常備消防部庁舎を新設した。(延528m²)
11. 2 市の行政機構を改革し、警防課を防護課と改称した。
18. 10. 5 第4分団詰所を新築した。
10. 22 防衛・土木・水道の3係を合併、警防工作課に改称し市の機構を改めた。
19. 4. 29 第1分団詰所を新築した。(通6丁目)
10. 15 第6分団詰所を新築した。(柳原町)
11. 12 第5分団詰所を新築した。(大町)
19. 第2・6分団に予備消防ポンプ自動車を配置した。
(地元有志の寄付による)
20. 第3分団消防ポンプ自動車帝都応援のため供出したので補充として1台を購入した。
21. 2. 4 警防団の改組により定員813名を383名に減じた。
3. 5 市の機構改正によって警防事務を庶務課に移した。
21. 常備部の定員14名を2名増員し、16名として強化を図り消防ポンプ自動車を4台とした。
22. 11. 3 昭和22.4.20勅令第185号をもって消防団令の公布により警防団が廃止された。勅令をもって消防団令が公布されたのにともない、即日足利市消防団を編成、組織は団長1・副団長2・分団長6・副分団長6・部長12・班長30・団員246名とし、1箇分団の定員は分団長1・副分団長1・部長2・班長5・団員41の計50名、6箇分団編成とした。更に常備部19、計322名となった。
23. 3. 初代消防長に木村浅七氏が就任した。
7. 24 消防組織法の制定公布により足利市消防団に改めた。
12. 1 団旗及び分団旗を新調した。
24. 6. 1 消防組織法の制定により足利市消防本部・消防署が発足した。
(人員20名)
10. 12 水槽付消防ポンプ自動車1台を購入した。
25. 火災報知機20基を増設した。
8. 1 国家消防庁長官から優良消防団として表彰された。
26. 3. 30 毛野村合併により2箇分団増設、定員を404名とした。
4. 1 消防本部の定員を30名とした。
5. 6 オート三輪消防ポンプ自動車1台を購入した。(第8分団)
27. 4. 1 消防団組織の少數精銳主義により、定員404名を243名に減じた。
11. 1 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第5分団)
28. 4. 1 山辺町合併により3箇分団増設、定員を333名とした。
12. 10 足利市消防賞じゅつ金条例が制定された。
29. 4. 1 消防本部の定員を32名とした。
8. 1 三重・山前村合併により4箇分団増設、定員を453名とした。
11. 1 北郷・名草村合併により3箇分団増設、定員を543名とした。
11. 22 第2代消防長に瀧島新三郎氏が就任した。
12. 8 消防ポンプ自動車2台・オート三輪消防ポンプ自動車1台を購入した。(署増車、第6・17分団更新)
29. 火災報知機15基を増設した。

- 昭和 30. 5. 1 気象観測装置を設置し観測を開始した。
8. 6 消防ポンプ自動車2台を更新した。(第2・3分団)
9. 28 消防専用中短波無線電話装置を整備した。
12. 15 消防ポンプ自動車を救急車に改造し救急業務を開始した。
30. 火災報知機20基を増設した。
31. 8. 1 消防ポンプ自動車2台を更新した。(第1・4分団)
11. 25 火災報知機36基を増設した。
32. 3. 1 国家消防本部長から優良消防機関として表彰旗が授与された。
10. 15 火災報知機受信機1基を増設した。(署)
12. 17 救急車1台を更新した。
12. 31 水槽付消防ポンプ自動車1台を増車した。
33. 4. 1 指令車1台を購入した。
11. 1 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第7分団)
34. 4. 1 富田村合併により1箇分団増設、定員を573名とした。
5. 6 第7代消防団長に長竹寅治氏が就任した。
8. 1 富田分遣所が開設された。
- 消防ポンプ自動車2台を購入した。(富田分遣所、第8分団更新)
- 化学消防ポンプ自動車1台を購入した。
- 火災報知機12基を増設した。
12. 1 消防本部の定員を52名とした。
35. 7. 1 矢場川村合併により1箇分団増設、定員を603名とした。
11. 1 火災報知機23基を増設した。
36. 5. 10 消防団の機構整備を行い、従来20箇分団編成であったが、これを11箇分団編成に縮小し、定員333名とし、その組織は団長1・副団長2・分団長11・副分団長11・部長11・副部長11・班長33・団員253名とした。
7. 10 山辺分遣所が開設された。
37. 9. 28 第8分団詰所を新設した。(利保町)
10. 1 御厨町及び坂西町合併により8箇分団増設、定員を573名とした。
- 編成は分団総数19箇分団となり、その組織は団長1・副団長2・分団長19・副分団長19・部長19・副部長19・班長57・団員437名とし、1箇分団の定員は分団長1・副分団長1・部長1・副部長1・班長3・団員23の計30名となった。
- 御厨分遣所が開設された。
- 坂西分遣所が開設された。
12. 1 消防本部の定員を91名とした。
38. 2. 6 消防ポンプ自動車2台を購入した。(御厨・坂西分遣所)
3. 20 第6分団詰所を新築した。(五十部町)
7. 31 第18分団詰所を新築した。(松田町)
11. 30 小曾根町水防倉庫を新築した。
39. 3. 17 第12分団詰所を新築した。(福居町)
4. 27 指令車を更新した。
5. 13 火災報知機60基を増設した。
- 火災報知機受信機2基を増設した。(御厨・坂西分遣所)
8. 1 第3代消防長に神村實一氏が就任した。
10. 31 第3分団詰所を増改築した。(鶴木町)
11. 25 坂西分遣所通信事務室を増設した。
40. 1. 25 中短波を超短波無線機に切替えた。(152.77MHz)

- 昭和 40. 4. 1 消防本部の定員を 100 名とした。
5. 28 可搬式動力ポンプ 1 台を更新した。
6. 21 火災報知機 19 基を増設した。
10. 6 第 15 分団詰所を増改築した。(福富町)
12. 27 水槽付消防ポンプ自動車 1 台を更新した。
41. 7. 15 火災報知機 30 基を増設した。
7. 18 救急車 1 台を更新した。
8. 12 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(山辺分遣所)
8. 31 奥戸町水防倉庫を新築した。
10. 11 広報車を新規に配置した。(ライオンズクラブから寄付受入)
42. 1. 25 第 8 代消防団長に小松原健吉氏が就任した。
2. 25 第 2 分団詰所を新築した。(助戸 3 丁目)
9. 20 消防ポンプ自動車 2 台を増車した。(署、第 5 分団)
10. 26 山辺分遣所庁舎を新築した。(165 m²)
11. 13 化学消防ポンプ自動車 1 台を増車した。(山辺分遣所)
43. 4. 1 消防本部の定員を 105 名とした。
4. 18 作業車 1 台を更新した。
8. 16 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(第 9 分団)
44. 3. 7 消防本部庁舎を新築した。(1,613.75 m²)
6. 26 救急車 1 台を増車し署に配置した。
8. 5 消防ポンプ自動車 3 台を更新した。(第 2・3・7 分団)
9. 7 第 7 分団詰所を新築した。(山下町)
45. 4. 1 消防本部の定員を 110 名とした。
4. 20 指令車を更新した。
7. 14 本部車を新規に配置した。(キンカ堂から寄付受入)
9. 8 第 19 分団詰所を新築した。(松田町)
11. 12 消防ポンプ自動車 3 台を更新した。(御厨分遣所、第 1・15 分団)
12. 17 はしご付消防ポンプ自動車を購入した。
46. 4. 1 消防本部の定員を 114 名とした。
5. 6 第 4 代消防長に阿部正夫氏が就任した。
7. 17 超短波無線傍受機を分団車 20 台に装備した。
9. 8 消防ポンプ自動車 3 台を更新した。
(第 8・19 (松田)・19 (小俣) 分団)
47. 3. 31 第 9 分団詰所を新築した。(名草中町)
4. 1 南分署が開設された。
- 南分署に救急車 1 台を配置した。
- 消防本部の定員を 118 名とした。
- 28 救急車 1 台を増車し署に配置した。
7. 19 化学消防ポンプ自動車 1 台を更新した。
- 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 13・17 分団)
10. 23 救命ボート 1 台を新規に配置した。(森下孝氏から寄付受入)
12. 26 第 17 分団詰所を新築した。(小俣財産区から寄付受入)
48. 5. 24 社団法人日本河川協会長から水防功労団体として表彰状を受賞した。
6. 15 アルミックス防火衣 118 着購入し全職員に貸与した。
7. 5 救急車 1 台を増車し署に配置した。(栃木県農業共済から寄付受入)
8. 24 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 11・16 分団)
11. 20 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(富田分遣所)

- 昭和 48. 11. 26 アルミックス防火衣 573 着購入し全団員に貸与した。
12. 6 超短波無線電話機の周波数を変更した。(150.45MHz)
12. 7 県消防協会長から優良消防団として竿頭綬を授与された。
12. 22 第14分団詰所を新築した。(久保田町)
49. 4. 1 消防本部の定員を122名とした。
5. 4 第9代消防団長に長山茂氏が就任した。
7. 25 消防ポンプ自動車2台を更新した。(第12・18分団)
9. 25 災害通報装置を分団詰所に設置した。
12. 17 第15分団詰所を改築した。(福富町)
50. 2. 12 県消防協会長から優良消防団として竿頭綬を授与された。
3. 30 坂西分遣所(西分署) 庁舎を改築した。(葉鹿町)
4. 1 西分署が開設された。
- 西分署に救急車1台を配置した。
4. 4 救急車1台を更新した。(森下孝氏から寄付受入)
5. 12 広報車を更新した。
7. 28 消防ポンプ自動車2台を更新した。(第4・6分団)
8. 4 作業車を更新した。(足利信用金庫から寄付受入)
- ホームライトポンプ1台を配置した。(足利信用金庫から寄付受入)
10. 7 消防ポンプ自動車1台を更新した。(西分署)
11. 7 気象観測機器一式を南分署に設置した。
(足利信用金庫から寄付受入)
12. 2 県消防協会長から優良消防団として竿頭綬を授与された。
12. 23 空気充てん機1台を購入した。
12. 30 伊勢町水防倉庫を大正町に移築した。
51. 4. 1 第5代消防長に新藤貞氏が就任した。
6. 21 指令車を更新した。(東京海上火災保険㈱から寄付受入)
8. 30 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第10分団)
9. 3 化学消防ポンプ自動車1台を更新した。
11. 5 救急車1台(更新)を南分署に配置した。
(三甲工業㈱から寄付受入)
11. 29 第16分団詰所を新築した。(葉鹿町)
12. 20 桐生市・伊勢崎佐波広城市町村圏振興整備組合・太田地区消防組合・館林地区消防組合・佐野地区広域消防組合と特殊災害消防対策相互応援協定締結
52. 1. 18 県消防協会長から優良消防団として竿頭綬を授与された。
8. 22 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第14分団)
10. 6 救助工作車1台を購入し署に配置した。
12. 1 火災報知機を2ヵ年計画で廃止することに決定した。
53. 4. 1 消防本部の定員を126名とした。
6. 7 第10代消防団長に岡田光郎氏が就任した。
7. 19 消防ポンプ自動車2台を更新した。(消防署、第5分団)
9. 1 本署管内の火災報知機を廃止した。(受信機3・発信機221)
10. 22 察察指導車2台を配置した。(板橋通商㈱から寄付受入)
10. 28 第13分団詰所を新築した。(小曾根町)
54. 4. 1 第6代消防長に高橋団男氏が就任した。
- 消防本部の定員を130名とした。
- 火災報知機を全廃した。
9. 4 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第9分団)

- 昭和 54. 10. 29 水槽付消防ポンプ自動車1台を南分署に配置した。
 　　(日本損害保険協会から寄付受入)
55. 3. 6 救急車1台を更新した。(日本自動車工業会から寄付受入)
 　　4. 1 消防本部の定員を134名とした。
6. 16 佐野市・佐野地区広域消防組合・太田地区消防組合・館林地区広域消防組合と消防相互応援協定締結
10. 4 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第3分団)
10. 7 消防訓練塔を新築した。
11. 21 防火広報車1台を配置した。(日本防火協会から寄付受入)
11. 22 水槽付消防ポンプ自動車1台を更新した。(消防署)
56. 4. 1 消防本部の定員を138名とした。
4. 18 両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。(足利市民プラザ)
5. 20 特殊災害消防相互応援協定を県下14消防本部と締結した。
 　　宇都宮市・栃木地区広域行政事務組合・佐野地区広域消防組合・鹿沼地区広域行政事務組合・日光地区広域消防組合・今市市・小山市・芳賀地区広域行政事務組合・大田原地区広域消防組合・塩谷広域行政組合・黒磯那須消防組合・石橋地区消防組合・藤原町・南那須地区広域行政事務組合
10. 12 水槽付消防ポンプ自動車1台を山辺分遣所に配置した。
57. 2. 10 日本消防協会から優良消防団として竿頭綬を授与された。
6. 30 本部車を更新した。
10. 8 化学消防ポンプ自動車1台(更新)を山辺分遣所に配置した。
 　　(アキレス㈱から寄付受入)
- 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第7分団)
11. 29 広報車1台を更新した。(足利市防火協会から寄付受入)
58. 2. 28 第11分団詰所を新築した。(里矢場町)
3. 7 救急車1台を更新した。(日本損害保険協会から寄付受入)
6. 1 栃木県知事から優良消防団として表彰旗を授与された。
10. 26 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第2分団)
59. 1. 11 第19分団(小俣)詰所を新築した。(小俣町)
4. 1 第7代消防長に根岸久夫氏が就任した。
4. 21 館林地区消防組合と水防相互応援協定締結
8. 17 バスケット付はしご消防ポンプ自動車(15m級)を配置した。
 　　(消防署)
- 消防ポンプ自動車2台を更新した。(第1・15分団)
8. 30 対照指導車2台を更新した。(板橋通商㈱から寄付受入)
60. 8. 26 消防ポンプ自動車2台を更新した。(第8・19(松田)分団)
61. 3. 28 第5分団詰所を新築した。(田中町)
6. 19 作業車1台を更新した。(消防署)
10. 30 消防ポンプ自動車3台を更新した。(消防署、第13・19(小俣)分団)
 　　救急車1台を更新した。(南分署)
62. 4. 1 第8代消防長に関口好三氏が就任した。
5. 27 両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。(コムファースト)
6. 4 指令車を更新した。(消防署)
63. 3. 25 化学消防ポンプ自動車1台及び消防ポンプ自動車2台を更新した。
 　　(消防署、第11・17分団)
3. 30 災害通報装置(アンサーバック方式)を更新した。
 　　空気充てん機(Y S-75型)を更新した。

- 昭和 63. 4. 1 警防課通信指令室を本部通信指令課とした。
7. 15 アルミックス防火衣等 137 着を購入し、全職員に貸与した。
- アルミックス防火衣等 193 着を購入し、団本部 3 着及び各分団 10 着貸与した。
7. 28 携帯無線傍受機 41 台を購入し、正副団長及び各分団長・副分団長へ貸与した。
8. 18 第 17 分団に非常用サイレンを設置した。
- 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 12・16 分団)
8. 31 超短波無線傍受機 20 台(分団車用)を更新した。
9. 1 テレフォンサービス(41-0000)を開局した。
9. 3 広報連絡車 1 台を購入し署に配置した。
9. 15 消防署車庫排煙設備を設置した。
10. 31 第 10 分団詰所を新築した。(駒場町)
- 平成元 . 2. 14 足利市消防団が特別表彰「まとい」を受賞した。
8. 10 広報連絡車 1 台を購入し南分署に配置した。
8. 31 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 4・18 分団)
9. 1 消防緊急情報システムが整備され業務を開始した。(通信指令課)
9. 16 携帯無線傍受機 19 台を購入し、各分団の部長へ貸与した。
9. 18 アルミックス防火衣等 190 着を購入し、各分団 10 着貸与した。
10. 24 化学消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(消防署)
12. 14 第 10 分団乾燥塔を新築した。
12. 18 救急車 1 台を更新した。(消防署)
12. 21 察指導車 2 台を更新した。(株板橋から寄付受入)
2. 3. 25 第 12 分団詰所を新築した。(島田町)
3. 28 防火広報車を更新した。(箕輪雅雄氏から寄付受入)
4. 1 第 9 代消防長に山崎 清氏が就任した。
- 第 11 代消防団長に半田勘次朗氏が就任した。
- 消防本部の定員を 142 名とした。
7. 17 広報連絡車 2 台を購入した。(西分署・山辺分遣所)
9. 28 携帯無線傍受機 19 台を購入し、各分団の副部長へ貸与した。
9. 29 アルミックス防火衣等 190 着を購入し、各分団 10 着貸与した。
9. 30 無線機(車載 2 台・携帯 3 台)を整備した。
11. 5 災害通報用サイレン 2ヶ所を更新した。(第 14・15 分団)
11. 9 山林火災用可搬式送水装置一式を購入した。(消防署)
11. 14 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 6・10 分団)
12. 20 水槽付消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(消防署)
3. 2. 19 救急車 1 台を更新した。(日本損害保険協会から寄付受入)
2. 28 消防車両動態表示装置を整備した。
3. 15 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(富田分遣所)
3. 25 第 1 分団詰所を新築した。(緑町 1 丁目)
3. 28 救急車 1 台を更新した。(ハッピー金属工業(株)から寄付受入)
4. 1 消防本部の定員を 146 名とした。
6. 27 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 5・14 分団)
8. 29 無線機(車載 3 台・携帯 3 台)を整備した。
8. 30 携帯無線傍受機 67 台を購入し、署幹部へ 10 台、各分団の班長へ 57 台貸与した。
9. 7 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(第 9 分団)
9. 11 災害通報用サイレン 2ヶ所を更新した。(第 4・11 分団)

- 平成 3. 10. 10 救助工作車II型（資機材を含む）1台を更新した。（消防署）
 10. 31 指令電送装置を整備した。
 11. 30 桐生市と消防相互応援協定締結
 12. 24 はしご付消防自動車（30m級）1台を更新した。（消防署）
 4. 3. 6 第8分団詰所を新築した。（利保町）
 4. 1 消防本部・署の組織改革に伴い、本部総務課に防災係を新設、消防署に係制度を導入した。
 河川情報システムが市河川課より移管された。（防災係）
 7. 20 潜水器具2組を整備した。（消防署）
 8. 10 査察車1台を更新した。（予防課）
 8. 21 救命用ゴムボート2艇を配置した。（アキレス㈱から寄付受入）
 9. 30 消防無線機に全国波を整備した。
 10. 30 水槽付消防ポンプ自動車1台を更新した。（消防署）
 11. 10 防火広報車1台を更新した。（足利市防火協会から寄付受入）
 12. 15 指揮車1台を更新した。（予防課）
 5. 4. 1 第10代消防長に須齋良一氏が就任した。
 消防本部の職員定数を157名とした。
 8. 19 デジタル警報地震計1台を設置した。（通信指令課）
 9. 20 両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。（足利工業大学）
 9. 30 災害通報用サイレン2ヶ所を更新した。（第2・13分団）
 12. 13 消防ポンプ自動車1台を更新した。（第3分団）
 12. 24 第14分団詰所を新築した。（久保田町）
 6. 4. 1 消防本部の職員定数を162名とした。
 消防団の組織を団長1・副団長3・分団長19・副分団長19・部長19・副部長19・班長57・団員437名の574名とした。
 11. 4 消防ポンプ自動車2台を更新した。（第2・7分団）
 11. 28 化学消防ポンプ自動車1台を更新した。（山辺分遣所）
 12. 6 高規格救急自動車1台を購入した。（消防署）
 12. 27 ファクシミリ電話機を各分団詰所に設置した。
 第18分団詰所を新築した。（松田町）
 7. 1. 30 消防ポンプ自動車1台を更新した。（第1分団）
 10. 5 市内6ヶ所に防災倉庫を設置し、防災資機材を整備した。
 10. 6 防災用携帯電話19台を市幹部職員に配備した。
 11. 24 消防ポンプ自動車3台を更新した。（第8・15・19（松田）分団）
 12. 27 第19分団（松田）詰所を新築した。（松田町）
 8. 3. 18 耐震性貯水槽（100m³）をJR足利駅前に設置した。
 10. 29 災害救援車（トイレカー）を購入した。
 12. 4 消防ポンプ自動車4台を更新した。（第11・13・17・19（小俣）分団）
 12. 24 富田分遣所を改築した。（駒場町）
 12. 26 第6分団詰所を新築した。（五十部町）
 水槽付消防ポンプ自動車1台を更新した。（富田分遣所）
 9. 2. 28 地域防災計画改訂事業の一環として、防災アセスメント調査及び地域別防災カルテを作成した。
 8. 19 エアーテント2基を配備した。（アキレス㈱から寄付受入）
 9. 7 足利市総合防災訓練を実施した。
 10. 14 携帯無線傍受機89台を更新し、署幹部へ10台、各分団幹部へ79台貸与した。
 11. 25 消防ポンプ自動車4台を更新した。（第4・12・16・18分団）

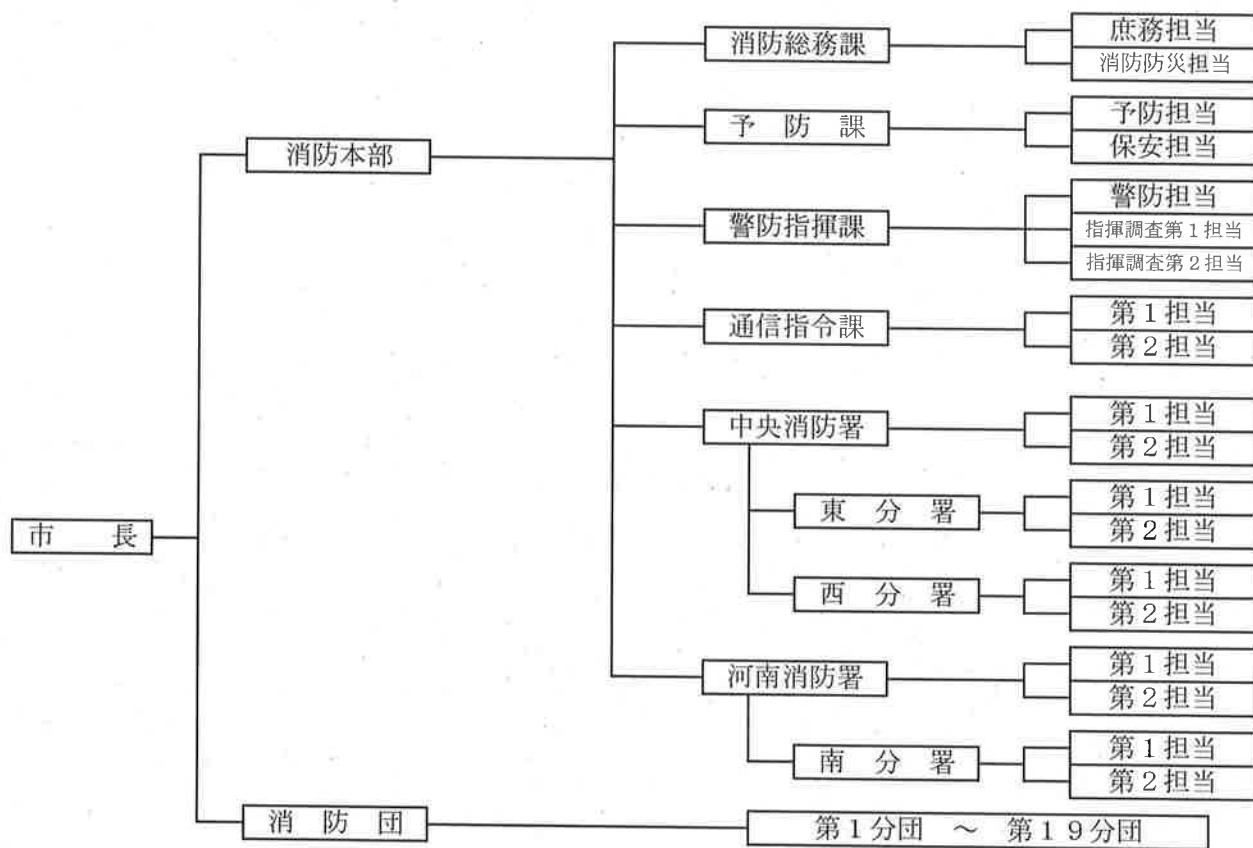
- 平成 9.12.19 第15分団詰所を新築した。(福富町)
10. 3.27 地域防災計画の全面改訂を実施するとともに、防災ガイドマップを作成した。
4. 1 第11代消防長に寺田豊治氏が就任した。
10. 24 携帯119番通報受付転送装置を設置した。
11. 30 消防団旗を更新した。
12. 15 第2分団詰所を新築した。(助戸3丁目)
11. 3.10 消防職員用防火衣一式を更新した。
3. 30 河南消防署建設に伴う実施設計が完了した。
4. 1 第12代消防長に小島輝松氏が就任した。
8. 10 軽可搬ポンプ1台が交付された。
(足利市婦人消防隊全国大会出場につき日本消防協会より交付)
8. 29 栃木県・足利市総合防災訓練・両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。(伊勢町渡良瀬運動場)
9. 30 消防団員用防火衣一式574着を更新した。
12. 14 化学消防ポンプ自動車1台を更新した。(西分署)
12. 2.15 県防災行政ネットワークシステムを整備した。(市役所)
3. 14 第3分団詰所を新築した。(八幡町)
4. 1 第13代消防長に倉沼靜雄氏が就任した。
消防本部の職員定数を170名とした。
7. 28 作業車1台を更新した。(消防署)
8. 30 消防無線市波にトーンスケルチ装置を附加した。
10. 31 河南消防署庁舎を新築した。(1,979.0 m²)
12. 8 指令車1台を更新した。(消防署)
12. 25 消防無線機に全国波第2・第3波を整備した。
12. 27 高規格救急自動車1台を購入し、河南消防署に配置した。
13. 2.28 第17分団詰所を新築した。(小俣町)
4. 1 第14代消防長に都筑三十四氏が就任した。
河南消防署が開設された。
10. 5 広報連絡車1台を更新した。(富田分遣所)
12. 7 化学消防ポンプ自動車1台を更新した。(中央消防署)
14. 3. 5 第4分団詰所を新築した。(八幡町3丁目)
3. 12 高規格救急自動車1台を更新した。(西分署)
3. 26 河南消防署訓練塔が完成した。
12. 31 無線サイレン吹鳴装置一式を更新した。(通信指令課、消防団詰所)
15. 1. 20 消防ポンプ自動車1台を更新した。(中央消防署)
2. 7 日本消防協会から優良消防団として表彰旗が授与された。
3. 26 広報連絡車1台を更新した。(中央消防署)
7. 23 高規格救急車1台を更新した。(南分署)
16. 4. 1 第15代消防長に山本竹男氏が就任した。
第12代消防団長に橋本日出夫氏が就任した。
10. 25 新潟県中越地震に伴う緊急消防援助隊派遣(マグニチュード6.8)
新潟県 10.25～10.28 救助部隊 10名
17. 1. 27 高規格救急自動車1台を購入した。(東分署)
2. 28 東分署を新築した。(644.90 m²)
3. 31 高規格救急自動車1台を更新した。(中央消防署)
4. 1 消防本部の職員定数を180名とした。
東分署が開設された。

- 平成 17. 9. 27 両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。(足利市民プラザ)
 12. 20 査察車1台を更新した。(予防課)
 18. 4. 1 第16代消防長に石川郁三氏が就任した。
 高機能通信指令システム(II型)の運用を開始した。
 消防・防災情報メール配信を開始した。
19. 3. 9 屈折はしご付消防自動車(25m級)1台を購入した。(中央消防署)
 3. 15 第7分団詰所を新築した。(山下町)
 3. 30 地域防災計画改訂の一環として、防災アセスメント調査を実施した。
 4. 1 第17代消防長に村田雅雄氏が就任した。
 4. 27 第13代消防団長に倉沼静雄氏が就任した。
 10. 2 広報連絡車1台を更新した。(南分署)
 11. 1 救急情報テレホンサービス(病院案内)を開始した。(0284-72-0099)
 12. 19 水槽付消防ポンプ自動車を更新した。(南分署)
 20. 3. 28 地域防災計画の改訂及び防災マップの作成を実施した。
 12. 26 救助工作車II型(資機材を含む)1台を更新した。(河南消防署)
 21. 4. 1 第18代消防長に山崎康次氏が就任した。
 8. 24 訓練指導車が交付された。(日本宝くじ協会より交付)
 9. 2 消防ポンプ自動車3台を更新した。(第6・10・14分団)
 9. 9 携帯電話等119通報位置通知装置を設置した。
 9. 17 指揮車1台を更新した。(予防課)
 10. 16 広報車2台を更新した。(西分署・河南消防署)
 22. 2. 16 防災広報車が交付された。(日本消防協会より交付)
 3. 19 消防職員用防火衣(上下式)一式の導入を開始した。
 9. 29 広報車1台を更新した。(予防課)
 23. 3. 11 東北地方太平洋沖地震に伴う緊急消防援助隊派遣
 (マグニチュード9.0/足利市震度5強)
 岩手県 3.11～3.25 消火部隊 8隊38名
 福島県 3.26～6.6 救急部隊 10隊30名
 4. 1 第19代消防長に森田政雄氏が就任した。
 消防本部の組織改革に伴い、本部総務課に警防担当を新設、
 警防課を廃止した。
24. 2. 14 指揮車1台を更新した。(河南消防署)
 2. 17 消防ポンプ自動車2台を更新した。(第5・9分団)
 3. 2 高規格救急自動車1台を更新した。(河南消防署)
 3. 14 軽可搬ポンプ1台が交付された。
 (足利市女性消防隊が全国女性消防操法大会(H25.10.17)出場に
 つき日本消防協会より交付)
 3. 26 第9分団詰所を新築した。(名草中町)
 10. 3 両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。(足利赤十字病院)
 11. 19 消防ポンプ自動車2台を更新した。(第2・3分団)
 25. 2. 22 資機材運搬車が総務省消防庁の無償使用制度により配備された。
 3. 6 消防ポンプ付水槽車(10t)1台を購入した。(中央消防署)
 4. 1 組織改正に伴い、総務課防災担当を総務課消防防災担当に名称変更し
 た。
 9. 1 栃木県足利市総合防災訓練を実施した。(伊勢町渡良瀬運動場)
 26. 3. 20 中央消防署西分署が移転完成した。(729.45m²)
 4. 1 第20代消防長に室岡茂夫氏が就任した。
 第14代消防団長に田米開久男氏が就任した。

- 平成 26. 4. 1 組織改正に伴い、総務課を消防総務課に名称変更した。
新西分署の運用が開始された。
12. 4 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(第 7 分団)
27. 2. 9 化学消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(河南消防署)
3. 6 消防本部・団が消防庁長官から竿頭綬を授与された。
4. 1 高機能消防指令センターを改修した。
12. 7 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(第 1 分団)
28. 2. 24 高規格救急自動車 1 台を更新した。(西分署)
3. 7 消防救急デジタル無線(活動波・無線サイレン吹鳴装置)一式を更新した。
西分署敷地内に足利消防西局を新設した。
4. 1 共通波(主運用波 1・統制波 1・統制波 2・統制波 3)の運用を開始した。
消防本部の組織改正に伴い、警防指揮課を新設、本部消防総務課警防担当を廃止した。
5. 20 第 15 代消防団長に山本誠氏が就任した。
9. 12 高規格救急自動車 1 台を更新した。(南分署)
11. 18 消防団員用救助用半長靴の導入を開始した。
11. 25 防災活動車が交付され、本部車を更新した。
(日本消防協会より交付)
29. 3. 17 第 16 分団詰所を新築した。(葉鹿町)
4. 1 第 21 代消防長に町田旭氏が就任した。
6. 15 栃木県知事から、消防水防功労団体として足利市消防団が表彰された。
9. 13 高規格救急自動車 1 台を更新した。(中央消防署)
10. 27 消防団員用防火衣(コート型)一式の導入を開始した。
11. 1 足利市学生消防団活動認証制度を導入した。
11. 14 第 39 回両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。(南分署)
11. 28 防災学習・災害活動車が交付され、中央広報車を更新した。
(日本消防協会より交付)
30. 2. 28 水槽付消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(東分署)
4. 1 第 16 代消防団長に小宮文雄氏が就任した。
10. 11 高規格救急自動車 1 台を更新した。(東分署)
31. 4. 1 機能別消防団員制度を導入し、37 名の機能別消防団員が任命された。
- 令和元. 5. 18 利根川水系連合・総合水防演習を実施した。
(五十部町地先渡良瀬左岸)
8. 8 消防本部庁舎建設に伴う基本・実施設計が完了した。
2. 3. 9 消防庁長官から、防災功労者として足利市消防団が表彰された。
4. 1 第 22 代消防長に大美賀裕氏が就任した。

總務編

消 防 組 織



消防職員配置状況

(2. 4. 1現在) (人)

定 員		消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	他	計
実 員		階級別	による定員区分なし							
消防本部	消防長	1								180
	次長		1							175
	消防総務課	庶務担当		2		1			1	1
		消防防災担当		1	1				1	8
	予防課	予防担当			3	2				9
		保安担当		1	1	1				
	警防指揮課	警防担当		1		2				11
		指揮調査第1担当		(1)	2	2				
		指揮調査第2担当			2	2				
	通信指令課	第1担当		1	2	2	1			11
		第2担当			2	2	1			
消防署	中央消防署	署長	1							37
		第1担当			3	6	6	3		37
		第2担当			3	6	6	3		
	東分署	第1担当		1	3	3	2	1		21
		第2担当			4	4	1	1		
	西分署	第1担当		1	4	4	1	1		21
		第2担当		1	3	4	2			
	河南消防署	署長	1							33
		第1担当			2	6	5	2	1	33
		第2担当			2	6	5	1	2	
	南分署	第1担当		1	4	4	1	1		21
		第2担当		1	3	4	1	1		
教官	栃木県消防学校				1					1

※警防指揮課長の職は次長兼務

消防職員年齢表

(2. 4. 1現在) (人)

階級別 年齢	総数	消防職員							事務職員
		消防監	司令長	司 令	司令補	土 長	副士長	消防士	
総数	175	1	5	30	59	53	11	14	2
18歳									
19〃									
20〃	1								1
21〃	2								2
22〃	2								2
23〃	3								3
24〃	3								3
25〃	2							1	1
26〃	4						2	2	2
27〃	6								6
28〃	3						2	1	
29〃	8						7	1	
30〃	5							5	
31〃	5							5	
32〃	3							3	
33〃	4							4	
34〃	9							8	1
35〃	7							7	
36〃	6							6	
37〃	4							4	
38〃	4						4		
39〃	6						5	1	
40〃	10						9	1	
41〃	2						2		
42〃	6						6		
43〃	6						6		
44〃	3						3		
45〃	7						7		
46〃	4						4		
47〃	7					1	6		
48〃	5					2	3		
49〃	5					4	1		
50〃	3					3			
51〃	3					2	1		
52〃	2					2			
53〃	4					4			
54〃	3					2	1		
55〃	4			1		2	1		
56〃	3					3			
57〃	4					3			
58〃	4			2		2			1
59〃	3	1	2						
平均年齢(歳)	39.7	59.0	57.8	52.7	43.5	33.1	26.9	23.1	45.5

消防職員在職年数表

(2. 4. 1現在) (人)

階級別 在職年数	総数	消防職員							事務職員
		消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	
総数	175	1	5	30	59	53	11	14	2
0～4年	15						4	9	2
5～9年	18					6	7	5	
10～14年	29					29			
15～19年	37				19	18			
20～24年	22			2	20				
25～29年	26			8	18				
30～34年	14		1	11	2				
35年以上	14	1	4	9					
平均在職年数(年)	18.80	41.00	38.60	31.80	22.02	13.00	5.55	3.64	1.00

市総予算と消防予算（一般会計）

(単位：千円)

区分 年度	市総予算		消防予算		構成比 (%)	
	当初予算	決算額	当初予算	決算額	当初	決算
平成23年度	49,850,000	48,455,544	1,615,596	1,555,263	3.24	3.21
平成24年度	49,810,000	47,724,166	1,544,745	1,532,964	3.10	3.21
平成25年度	50,500,000	48,725,896	1,732,672	1,685,747	3.43	3.46
平成26年度	51,700,000	51,811,181	1,627,920	1,649,645	3.15	3.18
平成27年度	51,800,000	51,781,872	1,899,844	1,874,874	3.67	3.62
平成28年度	52,700,000	51,450,738	1,635,656	1,591,004	3.10	3.09
平成29年度	52,600,000	52,182,709	1,618,592	1,623,327	3.08	3.11
平成30年度	52,700,000	52,513,897	1,639,513	1,638,159	3.11	3.12
令和元年度	52,900,000	53,172,552	1,901,315	1,799,315	3.59	3.38
令和2年度	53,800,000		2,816,974		5.24	

消防庁舎の現況

消防署

(2. 4. 1現在)

区分 名 称	所 在 地	構 造	棟数	建築面積(m ²) (延べ面積)	敷地面積 (m ²)	建築年月日
消防本部 中央消防署	大正町863	鉄骨鉄筋コンクリート造3階建	1	684.90 (1,613.75)	4,453.55	S44. 3.10
		鉄骨造平家建	1	208.00		
		鉄筋コンクリート造平家建	1	227.96		
		鉄骨造平家建	1	162.33		S40. 9.10
東 分 署	川崎町1324	鉄骨造平家建	1	644.90	2,385.78	H17. 2.28
西 分 署	葉鹿町2-3-2	鉄骨造平家建	1	729.45 (716.70)	3,492.24	H26. 3. 4
河南消防署 訓練塔	堀込町190-1	鉄骨鉄筋コンクリート造 3階建・免震構造	1	976.00 (1,979.00)	2,060.26	H12.10.31
	堀込町182-2	主塔-鉄骨造6階建	1	398.40	1,680.28	H14. 3.26
		補助塔-鉄骨造1階建	1	25.00		
南 分 署	上渋垂町1223	鉄骨モルタル造カラー鉄板 棒葺平家建	1	235.44	2,514.00	S47. 3.17

水防倉庫

(2. 4. 1現在)

区分 名 称	所 在 地	構 造	棟数	建築面積 (m ²)	建築延面積 (m ²)	建築年月日
寺岡水防倉庫 57号	寺岡町旗川堤防	木造セメント瓦葺平家建	1	33.00	33.00	S29.10.19
大正町水防倉庫 59号	大正町863	木造鉄板葺平家建	1	33.00	33.00	S50.12.30
福富水防倉庫	福富町渡良瀬川堤防	鉄骨造平家建	1	33.12	33.12	S60. 3.12
奥戸水防倉庫 84号	奥戸町旗川堤防	鉄骨造波型鉄板葺平家建	1	40.00	40.00	S41. 8.31
渋垂水防倉庫	上渋垂町1223	鉄骨波型スレート葺平家建	1	29.00	29.00	S54. 5.
西分署水防倉庫	葉鹿町647-1	鉄骨ルーフデッキ葺平家建	1	36.44	36.44	S58.11. 1

防災倉庫 (危機管理課所管)

(2. 4. 1現在)

区分 設置場所	所 在 地	構 造	棟数	備 蓄 品	設置年月日
総合運動場	西砂原後町1193	アルミニウム合金製 (W6m×D2.4m×H2.35m) ソーラー換気扇付 ※協和中学校・筑波小学校 は自然換気扇のみ	1	・アルファ米 ・ミネラルウォーター	H7.12.25
けやき小学校	柳原町861		1	・ドライミルク ・発電機 ・投光器 ・コードリール ・燃料タンク ・トランシーバー ・チェンソー ・ハンドマイク ・担架	
葉鹿小学校	葉鹿町1丁目14-2		1	・救命ロープ ・一輪車 ・救急医療セット ・防水シート ・毛布 ・リヤカー ・テント ・ウォーターバルーン ・ポリバケツ ・非常炊き出しレンジ ・簡易トイレ	
山辺小学校	八幡町386		1		
毛野中学校	八柵町27		1		
北郷小学校	田島町1		1		
協和中学校	百頭町160		1		
筑波小学校	小曾根町517		1		
五十部水防センター	五十部町284-1番地先	鉄骨造2階建	1	・アルファ米、ミネラルウォーター、他	H24.12.27

令和元年度主要事業

1 消防施設等整備事業

(円)

工事又は整備事業名	施工位置又は配置場所	請負業者(委託業者)	事業費	事業内容	完成年月日
消防団活性化総合整備事業	消防団	赤城工業㈱外3社	8,890,786	防火衣一式 83式 救助用半長靴 77足	元. 9. 24
消防本部庁舎等建設工事設計等業務委託	大正町	㈱フケタ設計	38,020,000	設計等業務委託一式 (平成30・令和元年度継続事業)	元. 8. 8
旧保健センター解体撤去工事	大正町	㈱真進建設	75,988,000	既存建物解体撤去一式	元. 12. 3
消防本部庁舎建設工事(建築工事)	大正町	真進・楯特定建設工事共同企業体	67,122,000	鉄筋コンクリート造2階建 2,338.05 m ² 外 (令和元・2年度継続事業)	
消防本部庁舎建設工事(電気設備工事)	大正町	半田・戸塚特定建設工事共同企業体		消防本部庁舎建設に伴う電気設備工事一式 (令和元・2年度継続事業)	
消防本部庁舎建設工事(機械設備工事)	大正町	島田・今泉特定建設工事共同企業体		消防本部庁舎建設に伴う機械設備工事一式 (令和元・2年度継続事業)	
大正町自治会館移転工事	大正町	㈱楯建設	17,919,000	既存建物移転一式	2. 2. 25
消防器具整備	消防本部	(資)渡辺商店外8社	4,849,499	消防用ホース10本外	2. 2. 27
消火栓整備事業費負担金	市内全域	足利市水道事業外6社	11,917,640	新設 2基 移設 12基 改修 7基	2. 3. 25
防火水槽整備等事業費	月谷町地内	(有)イマフジ工業	393,800	防火水槽漏水修理工事 1基	2. 3. 23

合 計			事業費計 225, 100, 725		
			財源内訳		
			市債 180, 000, 000		
			繰入 12, 000, 000		
			一般 33, 100, 725		

2 救急救命士養成事業

(人・円)

事 業 名	人 数	研修期間	研 修 場 所	事 業 費	事 業 内 容
救急救命士養成	新 規 1 ビデオ喉頭鏡 2 気管挿管 2	7 か月 2 症例 30 症例	救急救命東京研修所 足利赤十字病院 足利赤十字病院	一般 3, 013, 655	傷病者の救命率向上のため、専門的な知識技術を有し、高度な救命処置を行うことができる救急救命士を養成するものです。

通 信 指 令 編

通信指令施設等の現況

高機能消防指令センター(Ⅱ型)構成機器

(2. 4. 1現在)

指令装置(指揮台含む)	3式	電源設備	1式
表示盤	4面	統合型位置情報通知装置	1式
無線統制台	1台	消防O Aシステム	1式
指令電送装置	1式	放送設備	1式
気象情報収集装置	1式	駆け付け電話機	5台
災害状況等自動案内装置	1式	Eメール119装置	1台
順次指令装置	1式	FAX119受信装置	1台
音声合成装置	1式	システム監視装置	1式
出動車両運用管理装置	1式		

消防救急無線装置

(2. 4. 1現在)

基地局	固定局	移動局	受令機
足利消防 活動波1			
	足利消防 1局	車載型 10W17台 5W15台	受令機 7台
主運用波1			
統制波1	足利消防西 1局	携帯型 5W42台	
統制波2			
統制波3	分団詰所等 25局	可搬型 10W4台	車載型受令機 20台
足利消防西 活動波2			
活動波3			

無線サイレン吹鳴装置

(2. 4. 1現在)

親機	通信指令課	1
子機	分団詰所等	24

災害受信ファクシミリ等

(2. 4. 1現在)

消防専用	消防本部・署・分署 7	ひとり暮らし高齢者等 緊急通報受信機	通信指令課(足利市) 1
	分団詰所 20		

地震感知装置

(2. 4. 1現在)

地震計	栃木県	震度情報ネットワークシステム一式	足利市大正町863 消防本部庁舎1階警備室
-----	-----	------------------	--------------------------

災害・予警報受理状況

災害覚知（第一報）

31. 1. 1～元. 12. 31 (回)

覚知別	種別	合計	火災	救急	救助	その他
119 (固定電話からNTT加入電話)		1,681	18	1,609	14	40
119 (固定電話からNTT加入電話以外)		1,719	4	1,702	9	4
119 (携帯電話から)		2,321	17	2,219	41	44
F A X 1 1 9						
E メ ー ル 1 1 9						
加入電話 (固定電話から)		186		120	10	56
加入電話 (携帯電話から)		24		17	5	2
警察 察 電 話		424	2	353	29	40
駆け付け通報		38		36		2
事後聞知		1	1			
自己覚知		10		8	2	
消防・救急無線		98		52	2	44
ひとり暮らし緊急通報システム		64		64		
病院直通電話		133		130		3
その他の		10	1	5	3	1
合計		6,709	43	6,315	115	236

Eメール消防防災情報加入状況

(件)

事業名	令和元年度中の加入件数	令和元年度末現在の加入件数	事業内容
Eメール消防防災情報配信	913	13,422	市内で発生した災害や気象などに関する警報が発表された場合、その情報等を登録した方の携帯電話やパソコンに電子メールで配信してお知らせするものです。

Eメール消防防災情報の配信状況

31. 1. 1～元. 12. 31 (件)

区分	火災情報	火災以外の情報	気象情報	震度情報	緊急のお知らせ	消防情報	合計
令和元年中の配信数	93	746	84	8	11	6	948

災害情報テレホンサービスの利用状況

31. 1. 1～元. 12. 31 (件)

令和元年中の利用数	72,539	月平均	6,045	日平均	199
-----------	--------	-----	-------	-----	-----

気象通報受理状況

3 1. 1. 1 ~ 元. 1 2. 3 1 (回)

月別区分		年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
特別警報	暴風													
	暴風雪													
	大雨	1										1		
	大雪													
警報	暴風	1										1		
	暴風雪													
	大雨	5							2			3		
	大雪													
	洪水	3							1			2		
注意報	風雪													
	強風	25	3	2	4	4		1			2	4	1	4
	大雨	21					1	5	5	4	2	4		
	大雪	2	1	1										
	雷	73	1	1	3	6	7	10	13	20	6	5	1	
	乾燥	21		7	6	4	3						1	
	濃霧	48		6	1	3	3	3	6	6	6	4	3	7
	着氷(雪)	2	1	1										
	洪水	9					1		3		1	3	1	
	低温	13	10	3										
	その他(霜)	3			1		2							
情報	栃木県気象	158	7	4	4	4	6	22	28	27	13	31		12
	異常気象	17		6		5	5	1						
	台風	920	1	1				10	68	324	284	205	26	1
	竜巻	9							2	3	4			
	土砂災害	18							1			17		
	記録的豪雨	2							2					
通報	火災気象	127	31	20	23	20	14	1			3	1	5	9
	その他													
計		1,478	55	52	42	46	42	53	131	384	321	281	38	33

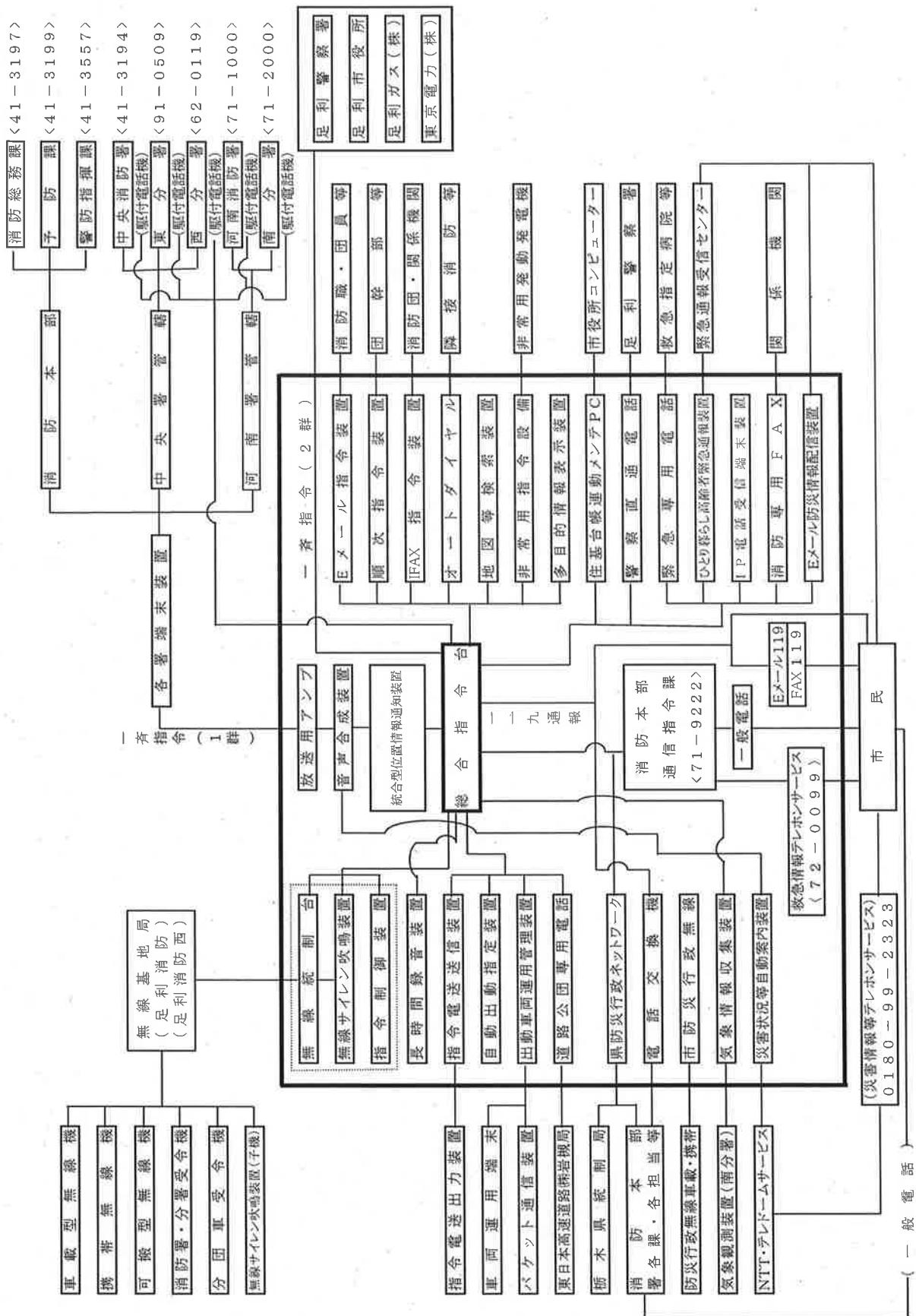
水防警報等受理状況

3 1 . 1 , 1 ~ 元 . 1 2 , 3 1 (回)

月別		年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利根川水系 洪水予報 (国土交通省 ・気象庁)	洪水警報													
	洪水注意報													
	洪水情報													
	解除													
水防警報 (国土交通省) 基本系	待機													
	準備	1										1		
	出動	2										2		
	指示													
	解除	1										1		
	情報	1										1		
水防警報 (栃木県) 補助系	待機													
	準備	2										2		
	出動	1										1		
	指示													
	解除	1										1		
	情報													
草木ダム 放流通知		13		9	1		1		1				1	
高津戸ダム放流通知		7					1	1	2	1	1	1		
松田川ダム放流通知		1										1		
計		30		9	1		2	1	3	1	1	12		

消防通信指令系統圖

(令和2.4.1現在)



予 防 編

指定防火対象物数

(2, 4, 1 現在)

		用 途	指定防火対象物数 (棟数)	防火管理者選任義務 対象物数
1	イ	劇場、映画館、観覧場等	3	3
	ロ	公会堂、集会場	68	66
2	イ	キャバレー、カフェ等	5	3
	ロ	遊技場、ダンスホール	15	16
3	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	2	2
	ニ	カラオケボックス等	2	2
4	イ	待合、料理店等	9	6
	ロ	飲食店	139	133
4		百貨店、物品販売店舗等	217	139
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	195	16
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	646	150
6	イ	(1) 特定病院	8	6
		(2) 特定診療所	2	2
		(3) 非特定医療機関(有床系)	22	16
		(4) 非特定医療機関(無床系)	60	20
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	81	79
		(2) 救護施設		
		(3) 乳児院		
		(4) 障害児入所施設		
		(5) 障害者支援施設等	30	20
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	36	21
		(2) 更生施設		
		(3) 助産施設、保育所等	46	42
		(4) 児童発達支援センター等	5	
		(5) 身体障害者福祉センター等	65	19
	ニ	幼稚園、特別支援学校	16	12
7	学校、各種学校等		218	179
8	図書館、美術館等		14	9
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場		
	ロ	一般公衆浴場等	4	2
10	停車場等		1	
11	神社、寺院、教会等		47	17
12	イ	工場、作業場等	804	86
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ		
13	自動車車庫、駐車場		25	2
14	倉庫		360	8
15	前各項に該当しない事業場		368	123
16	イ	複合用途(特定)	312	185
	ロ	複合用途(その他)	92	17
16の2	地下街			
17	重要文化財等		41	4
合 計			3,958	1405

建築物同意事務処理状況

(31. 4. 1 ~ 2. 3. 31)

区分 月別	受付件数	工事種別			処理件数		
		新築	増改築	その他	同意	条件付同意	不同意
4月	12	12	0	0	12	0	0
5月	13	13	0	0	13	0	0
6月	28	25	1	2	28	0	0
7月	14	12	1	1	14	0	0
8月	10	10	0	0	10	0	0
9月	15	14	1	0	15	0	0
10月	11	11	0	0	10	0	0
11月	13	13	0	0	13	0	0
12月	6	5	1	0	6	0	0
1月	10	8	1	1	10	0	0
2月	10	8	1	1	10	0	0
3月	10	8	2	0	10	0	0
計	152	139	8	5	151	0	0
平成30年度	212	197	8	7	211	0	0

消防用設備等検査数

(31. 4. 1 ~ 2. 3. 31)

種別		実施数	計
消火設備	消火器	42	76
	屋内消火栓設備	11	
	屋外消火栓設備	6	
	スプリンクラー設備	17	
警報設備	自動火災報知設備	110	126
	非常警報設備	16	
	漏電火災警報器	0	
避難設備	避難器具	7	59
	誘導灯	52	
計		261	

中高層(4階以上)建物の現況

(2. 4. 1 現在)

(2. 4. 1現在)																		
防火対象 物の別	公会堂等	料理店等	店舗	旅館、ホテル	共同住宅	病院	福祉施設	学校等	美術館等	工場	駐車場等	倉庫	事務所等	複合用途	専用住宅	用途なし	計	
階層																		
4階	4	1	4	2	53	3	3	17	1	8		2	16	37	2	8	161	
5階		3	2	1	75	4			3	1	1	1		6	19		3	119
6階				1	12			1	2					2	13			31
7階				1	12			1	1		1				10			26
8階					4				3					1	1			9
9階				1	3	1			1						4			10
10階				2	5										1			8
11階					7										3			10
12階					2										1			3
13階					2													2
14階					2													2
15階					1													1
計	4	4	6	8	178	8	5	27	2	10	1	2	25	89	2	11		382

*中高層建物の分布状況 河北地区241ヵ所・河南地区141ヵ所

危険物施設の現況

(2. 4. 1 現在)

種別	施設数	種別	施設数
製造所	10	給油取扱所(営業用)	34
屋内貯蔵所	88	給油取扱所(自家用)	37
屋外タンク貯蔵所	54	第1種販売取扱所	2
屋内タンク貯蔵所	9	第2種販売取扱所	
地下タンク貯蔵所	77	移送取扱所	
簡易タンク貯蔵所		一般取扱所	84
移動タンク貯蔵所	47	計	472
屋外貯蔵所	30		

貯蔵取扱倍数別危険物施設数

(2. 4. 1現在)

施設別 倍数別	総 製 造 所 数	貯蔵所								取扱所					
		小 計	屋 内 ク	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外 ク	小 計	給 油	第一種 販 売	第二種 販 売	移 送	一 般
5倍以下	175	1	134	40	10	6	33		41	4	40	9	1		30
5倍を超える10倍以下	130	6	84	21	21	3	19		1	19	40	9			31
10倍を超える50倍以下	115	2	73	23	22		19		2	7	40	17	1		22
50倍を超える100倍以下	14		7		1		3		3		7	6			1
100倍を超える150倍以下	12		5	2			3				7	7			
150倍を超える200倍以下	7		2	2							5	5			
200倍を超える1,000倍以下	19	1									18	18			
1,000倍を超える5,000倍以下															
5,000倍を超える10,000倍以下															
10,000倍を超えるもの															
合 計	472	10	305	88	54	9	77		47	30	157	71	2		84

各種申請届出等事務処理状況

(31. 4. 1~2. 3. 31)

区分	件数	区分	件数
消防法に基づくもの (危政令関係)	危険物製造所等設置許可申請	3	燃料電池発電設備設置届出
	危険物製造所等変更許可申請	62	変電設備設置届出
	危険物製造所等完成検査前検査申請	24	発電設備設置届出
	危険物製造所等完成検査申請	72	蓄電池設備設置届出
	危険物製造所等仮使用承認申請	57	制限行為の解除承認申請
	危険物製造所等譲渡引渡届出		水素ガスを充てんする気球の設置届出
	危険物製造所等種類数量変更届出	4	昇煙届出
	危険物製造所等廃止届出	16	煙火打上(仕掛け)届出
	危険物貯蔵(仮取扱)承認申請		催物開催届出
	危険物保安監督者選任(解任)届出	44	水道断(減)水届出
	予防規程制定(変更)認可申請	14	道路工事届出
	資料提出及びその他の届出	79	少量危険物貯蔵取扱(廃止)届出
ノ (施行令関係)	消防計画届出	357	指定可燃物貯蔵取扱(廃止)届出
	防火管理者選任(解任)届出	218	露店等の開設届出
	圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱(廃止)届出	45	その他申請及び届出
	消防用設備等設置届出	314	危険物製造所等の休止届出
	消防用設備等着工届出	155	危険物設置者氏名その他変更届出
火災予防条例に基づくもの	消防用設備等点検結果報告	1,315	危険物災害事故発生報告
	裸火等使用許可申請	40	許可証等再交付申請
	防火対象物使用開始届出	91	液化石油ガス意見書交付申請
	火を使用する設備等設置届出	炉	液化石油ガス設備工事届出
		かまど	煙火消費許可申請
		ボイラー	高圧ガス関係各種届出
		放電加工機	旅館等意見書交付申請
		温風暖房機	消防水利に関する事前協議申請
		ヒートポンプ	諸証明願
		厨房設備	計
	その他の	24	4,107

消防広報等実施状況

防火広報

(31. 4. 1~2. 3. 31)

区分	方 法	対 象	回 数	備 考
車両広報	広報車・消防車	一般市民	107	市内全域
	分団消防車	〃	680	各分団管轄区域
文書広報	あしかがみ	〃	8	全戸配布
	機関誌「火災」	防火協会員	3	全会員事業所
	防火チラシ	一般市民	1	全戸配布
街頭広報	キャンペーン・パレード	〃	3	各防火防災団体 308名

防火座談会

(31. 4. 1~2. 3. 31)

区分	対 象				計
	一般市民	工場事業所等	自主防災組織	女性防火クラブ	
回	1	5	1	0	7
延人員	17	111	100	0	228

防火防災指導

(31. 4. 1~2. 3. 31)

区分	防 火 対 象 物											そ の 他			計
	小学校	中学校	高各 種 学 校	病院	店舗	工事場所	幼稚園	福祉施設	旅館	複合用途	自災主 防 火 織	女 性 防 火 ブ ラ ズ	そ の 他		
	17	9	7	15	30	65	29	92	5	58	3				330
回	17	9	7	15	30	65	29	92	5	58	3				330
延人員	4,684	2,885	3,144	1,348	394	4,638	3,477	3,191	30	2,578	572				26,941

見 学

(31. 4. 1~2. 3. 31)

区分	対 象				計	
	幼稚園	保育所	小学校	一般		
疗舍見学	回	9	17	37	5	68
	延人員	585	383	2,320	145	3,433

各種防火団体

1 足利市防火協会

(1) 会の目的

会員相互の融和を図り、防火及び自衛消防の進展を期するとともに、一般の防火防災に寄与することを目的とする。(会則第2条)

(2) 加入事業所

事業所

(2. 4. 1現在)

部会別	第1部会	官公庁・事業所	248事業所
	第2部会	工場	173事業所
	第3部会	危険物・高圧ガス施設	47事業所
	第4部会	旅館・店舗・サービス業	68事業所
	計		536事業所

(3) 結成年月日

昭和37年7月25日

(4) 事業

- ア 防火講習会(研修会)の開催
- イ 各種防火運動への協力
- ウ 機関誌「火災」発行配布
- エ 優良事業所従業員表彰
- オ 優良事業所の視察
- カ 防火ポスター・チラシの配布
- キ 防火標語の募集
- ク その他

2 女性防火クラブ（昭和39年結成、17クラブ、9,768名）

(1) 連合会

名称	クラブ数	会長	副会長	幹事
足利市女性防火クラブ連絡協議会	17	1	2	3

(2) 単位クラブ

(2.4.1現在)

クラブ名	クラブ員数	クラブ名	クラブ員数
久野地区クラブ	627	朝倉町2丁目クラブ	453
名草下町〃	259	堀込町2丁目〃	1,043
福居栄町〃	366	葉鹿町熊野〃	660
名草中町〃	194	田島町〃	395
名草上町〃	138	堀込町1丁目〃	850
福居八木町〃	303	梁田地区〃	1,589
福居南町〃	365		
福居中里町〃	655		
百頭町〃	621		
島田町〃	400		
上渋垂町〃	850		
計	17クラブ		9,768名

3 少年消防クラブ（昭和33年結成、33クラブ、596名）

(1) 連合会

名称	クラブ数	委員長	副委員長	委員
足利市少年消防クラブ推進委員会	33	1	2	30

(2-1) 単位クラブ（中学校）

(2.4.1現在)

クラブ名	クラブ員数	クラブ名	クラブ員数
第一中学校クラブ	19	西中学校クラブ	34
第二中学校〃	18	山辺中学校〃	41
第三中学校〃	20	坂西中学校〃	38
毛野中学校〃	37	協和中学校〃	32
富田中学校〃	14	愛宕台中学校〃	13
北中学校〃	24		
計	11クラブ		290名

(2-2) 単位クラブ（小学校）

(2.4.1現在)

クラブ名	クラブ員数	クラブ名	クラブ員数
けやき小学校クラブ	16	毛野小学校クラブ	15
青葉小学校〃	57	毛野南小学校〃	10
東山小学校〃	8	山辺小学校〃	12
桜小学校〃	8	南小学校〃	27

クラブ名	クラブ員数	クラブ名	クラブ員数
三重小学校クラブ	12	梁田小学校クラブ	14
山前小学校〃	14	久野小学校〃	5
北郷小学校〃	12	筑波小学校〃	10
大月小学校〃	8	御厨小学校〃	16
名草小学校〃	9	坂西北小学校〃	12
富田小学校〃	13	葉鹿小学校〃	12
矢場川小学校〃	5	小俣小学校〃	11
計	22クラブ	306名	

4 幼年消防クラブ (昭和57年結成、38クラブ、3,887名)

(1) 公立保育所

(2. 4. 1現在)

クラブ名	クラブ員数	クラブ名	クラブ員数
大町保育所クラブ	47	三重保育所クラブ	37
羽刈保育所〃	58	大前保育所〃	20
山川保育所〃	82	名草保育所〃	10
梁田保育所〃	75	わたらせ保育所〃	62
みなみ保育所〃	66	にし保育所〃	73
きた保育所〃	54		
計	11クラブ	584名	

(2) 私立保育園

(2. 4. 1現在)

クラブ名	クラブ員数	クラブ名	クラブ員数
小俣幼稚生活団クラブ	106	わかば保育園クラブ	103
やまえ保育園〃	120	しんまち保育園〃	80
常念寺保育園〃	84	両野こども園〃	285
ルンビニ保育園〃	91	天王保育園〃	163
足利本城保育園〃	57	ポッポ保育園〃	84
龍泉寺保育園〃	158	ふくい保育園〃	124
計	12クラブ	1,455名	

(3) 私立幼稚園

(2. 4. 1現在)

クラブ名	クラブ員数	クラブ名	クラブ員数
認定こども園足利幼稚園クラブ	175	足利短期大学附属幼稚園クラブ	126
認定こども園友愛幼稚園〃	64	幼保連携型認定こども園旭幼稚園	121
幼保連携型認定こども園花園幼稚園〃	161	幼保連携型認定こども園足利いづみ幼稚園	161
足利みどり幼稚園〃	19	認定こども園足利めぐみ幼稚園	104
足利くるみ幼稚園〃	198	幼保連携型認定こども園足利こはと幼稚園	146
矢場川幼稚園〃	72	認定こども園足利しらゆり幼稚園	253
認定こども園東光寺幼稚園〃	167	足利さくら幼稚園〃	43
山辺幼稚園〃	38		
計	15クラブ	1,848名	

警

防

編

消防車両の配置状況

(1) 消防本部

(8台)

(2. 4. 1現在)

区分 車別	車名	型式	年式	出力 (kW)	登録番号	規格	登録年月日
本 部 車	三 菱	D B A - C V 5 W	2016	125	とちぎ800さ8763		H28. 11. 21
訓 練 指 導 車	マツダ	A B F - S Y E 4 T	2009	74	とちぎ100す 928		H21. 8. 21
予 防 1 号 車	ホンダ	D B E - G J 3	2010	66	とちぎ800さ6518		H22. 9. 10
予 防 2 号 車	ニッサン	C B E - V F Y 1 1	2005	78	とちぎ800さ4557		H17. 12. 19
指 挥 1 号 車	トヨタ	C B F - T R H 2 2 6 K	2009	111	とちぎ800さ6107		H21. 9. 3
指 指 2 号 車	トヨタ	C B F - T R H 2 0 0 K	2012	98	とちぎ800さ6909		H24. 2. 8
警 防 広 報 車	ホンダ	D B A - R G 1	2005	114	とちぎ500ぬ7596		H17. 7. 22
防 災 広 報 車	ホンダ	D B A - R N 7	2010	103	とちぎ500ほ7720		H22. 2. 12

(2) 中央消防署

(8台)

梯 子 車	日 野	P K - F H 2 P L J A 改	2007	279	とちぎ800は 380	25M屈折	H19. 3. 2
水 槽 車	日 野	Q D G - F R 1 A P B A 改	2013	279	とちぎ830せ2013	水槽車	H25. 2. 28
化 学 車	日 野	K K - F D 1 J E D A 改	2001	220	とちぎ800さ2024	I型	H13. 12. 5
ポンプ 1 号 車	日 野	K K - X Z U 3 3 1 M	2003	103	とちぎ800さ2769	CD-I型	H15. 1. 17
救 急 1 号 車	トヨタ	C B F - T R H 2 2 6 S	2017	111	とちぎ830も 119	高規格	H29. 9. 4
救 急 2 号 車	トヨタ	T C - V C H 3 8 S	2005	132	とちぎ800さ4070	高規格	H17. 1. 25
資 機 材 運 搬 車	三 菱	T K G - F G B 7 0	2013	110	とちぎ800さ7301		H25. 2. 21
広 報 車	トヨタ	C B F - T R H 2 2 6 K	2017	111	とちぎ800さ9227		H29. 11. 24

(3) 東 分 署

(4台)

水 槽 車	日 野	2 K G - G X 2 A B A	2018	177	とちぎ830せ2017	I-B型	H30. 2. 14
ポンプ 車	い す ず	U - N K R 5 8 E 2 N 改	1991	88	栃木 88ぬ3306	CD-I型	H 3. 6. 24
救 急 車	トヨタ	C B F - T R H 2 2 6 S	2018	111	とちぎ800さ9656	高規格	H30. 10. 5
広 報 車	スズキ	L E - D A 6 2 V	2001	36	とちぎ 80あ 58		H13. 10. 4

(4) 西 分 署

(4台)

化 学 車	日 野	K K - F D 1 J E D A 改	1999	162	とちぎ800さ 93	I型	H11. 12. 10
ポンプ 車	三 菱	U - F E 5 3 8 B 改	1994	96	栃木 88ぬ7407	CD-I型	H 6. 10. 27
救 急 車	トヨタ	C B F - T R H 2 2 6 S	2016	111	とちぎ830さ2499	高規格	H28. 2. 15
広 報 車	ホンダ	G B D - H H 6	2009	39	とちぎ880あ 241		H21. 10. 6

(5) 河南消防署

(6台)

化 学 車	日 野	S D G - G X 7 J G A A 改	2014	164	とちぎ830そ2014	I型	H26. 12. 26
救 助 工 作 車	日 野	B D G - G X 7 J G W A 改	2008	220	とちぎ830す2008	II型	H20. 12. 9
ポンプ 車	三 菱	U - F E 3 3 7 B 改	1993	88	栃木 88ぬ6218	CD-I型	H 5. 12. 10
救 急 車	トヨタ	C B F - T R H 2 2 6 S	2012	111	とちぎ830せ1199	高規格	H24. 2. 14
作 業 車	トヨタ	K K - V Z U 3 8 2	2000	96	とちぎ800さ 699		H12. 7. 26
広 報 車	ホンダ	G B D - H H 6	2009	39	とちぎ880あ 240		H21. 10. 6

(6) 南 分 署

(4台)

水 槽 車	日 野	B D G - G X 7 J G W A 改	2007	162	とちぎ830ぬ 119	I-B型	H19. 12. 17
ポンプ 車	三 菱	U - F E 5 3 8 B 改	1994	96	栃木 88ぬ7408	CD-I型	H 6. 10. 27
救 急 車	トヨタ	C B F - T R H 2 2 6 S	2016	111	とちぎ830さ 373	高規格	H28. 9. 5
広 報 車	スバル	L E - T V 2	2007	36	とちぎ880あ 154		H19. 9. 27

主な消防機器の配備状況

(2. 4. 1 現在)

種類		計	中央消防署	東分署	西分署	河南消防署	南分署
一般救助用具	かぎ付はし	4	2			2	
	ワイヤはし	1				1	
	三連はし	5	1		1	2	1
	空気式救助マット	2	1			1	
	救命索発射銃	2				2	
	サバイバースリング	3	2			1	
	平担架	1				1	
重量物排除用具	油圧ジャッキ	2				2	
	油圧スプレッダー	4	1		1	2	
	可搬ウインチ	4	2			1	1
	マンホール救助器具	2				2	
	救助用簡易起重機	1				1	
	マット型空気ジャッキー式	4	1			3	
	大型油圧スプレッダー	1				1	
切断用器具	救助用支柱器具	1				1	
	油圧切斷機	2				2	
	エンジンカッター	6	1	1	1	2	1
	ガス溶断機	1				1	
	チエーンソー	2		1		1	
	空気鋸	1				1	
	大型油圧切斷機	1				1	
破壊用器具	空気切斷機	3	1	1		1	
	携帯用コンクリート破壊器具	1				1	
	削岩機(ハンマドリル)	3	1			2	
検知・測定用具	生物剤検知器	1				1	
	可燃性ガス測定器	3	1			2	
	有毒ガス測定器	3	1			2	
	酸素濃度測定器	1				1	
	放射線測定器	7	2	1		3	1
隊員保護用具	空気呼吸器	58	24	6	8	14	6
	酸素呼吸器	5	2			3	
	簡易呼吸器	2				2	
	送排風機	1				1	
	耐電衣(7000V)	8	5			3	
	防毒マスク	19	5	3	3	5	3
	化学防護服	28	10			18	
	陽圧式化学防護服	5				5	
	耐熱服	2				2	
除染用器具	放射線防護服	2				2	
	除染シャワーユニット	1	1				
	除染剤散布器	2				2	

種類		計	中央消防署	東分署	西分署	河南消防署	南分署
水難救助用具	潜水器具	6				6	
	水中投光器	3				3	
	救命ボート	7	2	1	1	2	1
	アルミボート	2	2				
	船外機	2	1			1	
	水中スクーター	1				1	
	水中無線機	1				1	
	水中時計	6				6	
検索用器具	簡易画像探索機	3	1			2	
高度救助用具	地中音響探知機	1				1	
	熱画像直視装置	2	1			1	
	夜間用暗視装置	2	1			1	
その他の救助用器具	車両移動器具	1				1	
	緩降機	2	1			1	
	ロープ登降機	4				4	
救急器具	耐震式血圧計	6	2	1	1	1	1
	血中酸素飽和度測定器	6	2	1	1	1	1
	患者監視モニター	6	2	1	1	1	1
	手動式人工呼吸器(成人用)	6	2	1	1	1	1
	手動式人工呼吸器(小児・新生児用)	6	2	1	1	1	1
	自動式人工呼吸器	6	2	1	1	1	1
	喉頭鏡セット	6	2	1	1	1	1
	電動吸引器	6	2	1	1	1	1
	気管内挿管セット	6	2	1	1	1	1
	自動体外式除細動器	12	4	2	2	2	2
	自動式心マッサージ器	5	1	1	1	1	1
その他	陰圧式患部固定具	6	2	1	1	1	1
	泡原液(リル)	1,680	740	200	220	300	220
	オイルフェンス(吸着マット)10M	15	2	2	2	4	5

水防資器材一覧

(2. 4. 1現在)

備蓄場所 品名	五十 部水防 セント ラ	大正町 水防倉庫	渋垂 水防倉庫	福富 水防倉庫	寺岡 水防倉庫	奥戸 水防倉庫	東分 署	葉鹿町 水防倉庫	河南 消防署	小計	分団	合 計
ノコギリ	20	8	8	2	2		5	5	3	53	38	91
なた	10	5	5	1	1		5	2	5	34	38	72
唐鍤		5	2				2	2	3	14	40	54
斧	10	4	2					2		18		18
大鎌		4								4		4
小鎌	10	30	15	5	10		10	15	25	120	40	160
掛矢	10	8	5	2	3		5	5	5	43	57	100
スコップ	10	25	15	5	3		5	15	5	83	190	273
つるはし	10	10	5	2	3		3	5	5	43	40	83
ジヨレン		10	10	3	3		3	10	6	45	40	85
カッター(鉄線切)		5	2				1	1	3	12	20	32
ペンチ		4	3		1		1	1	5	15	20	35
ハンマー	10	5	2	1	1		2	2	2	25		25
フルコン袋		4,000	1,500		500		1,500	1,500	2,000	11,000		11,000
シート		20	10				5	5	10	50		50
ロープ		40								40		40
玉縄		35	10	5	10			10	20	90		90
鉄杭		120	30	10	20	30	30	70	100	410		410
木杭		400	200	120	150		30	300	200	1,400		1,400
鉄線		90	50	50	35			10	20	255		255
一輪車		4	1	1	1		1	1	2	11		11
フルコン土のう		600	1,000	2,700	500	500	500	3,000	500	9,300	440	9,740

山林火災器具

(2. 4. 1現在)

種類	計	中央消防署	東分署	西分署	河南消防署	南分署	消防団
可搬式送水装置	4	2		2			
手動ポンプ付水のう	326	90	30	30	15	10	151
携帶用防火セット	34	12	4	4	1		13
熊手	293	13	5	5	5		265
水筒	62	38	12	12			
木鎌	110	13	5	5	12		75

消防水利の現況

(2. 4. 1現在) (基)

種類		計	中央消防署	東分署	西分署	河南消防署	南分署
消火栓	公設	2,886	1,013	397	498	575	403
	私設	5	2			3	
防火水槽	公設	100m³以上	1	1			
		40~100m³未満	28	8	4	6	5
		20~40m³未満	278	64	67	76	32
	私設	100m³以上	20	3	1	2	8
		40~100m³未満	54	5	3	5	11
		20~40m³未満	41	4	1	5	9
プール		40	14	6	7	7	6

氣象年報

(31. 1. 1 ~ 元. 12. 31)

項目	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間	前年	極 値				平年値
		最高最多	起年	最低最小	起年											最高最多	起年	最低最小	起年	
気温 °C	平均	4.0	5.9	9.2	13.0	19.9	21.8	24.3	28.2	24.6	18.9	11.7	6.8	15.6	16.0	16.1	H25年	13.19	S61年	14.7
	最高平均	10.1	11.9	14.9	18.9	26.6	26.5	28.3	33.3	29.2	23.0	17.2	12.1	21.0	20.6	21.58	H25年	18.32	S61年	20.0
	最低平均	-1.8	0.4	3.9	7.5	13.6	18.3	21.4	24.7	21.0	15.5	6.7	2.2	11.1	11.1	11.22	H25年	8.62	S61年	10.2
	最高極	15.5	調整中	22.2	27.7	35.4	33.5	36.4	38.0	36.0	30.4	25.2	18.4	38.0	38.7	40.2				
	起日	5日	0日	22日	22日	26日	6日	31日	8日	9日	5日	1日	12日	8月8日	7月23日	H19年8月16日				
	最低極	-5.8	調整中	-2.1	0.1	3.8	15.1	16.9	21.5	17.1	10.7	-0.4	-2.6	-5.8	-6.2			-9.7		
湿度 %	起日	10日	0日	9日	3日	8日	9日	10日	25日	14日	17日	29日	29日	1月10日	1月13日			S59年1月21日		
	平均	55.6	59.3	62.0	62.8	63.8	79.0	86.6	81.0	80.4	83.1	75.6	73.5	72.0	72.8	77.0	S34年	62.5	H16年	69.2
	最小	24.9	20.8	13.3	12.4	13.8	26.3	54.4	45.5	46.6	31.1	28.6	30.5	12.4	11.9			4		
	起日	19日	17日	2日	16日	24日	6日	26日	8日	30日	9日	4日	4日	4月16日	3月30日			S40年4月27日		
	最小実効	48.8	49.2	45.4	41.6	54.0	64.8	81.0	73.0	77.9	72.7	63.6	63.8	41.6	48.1			33		
風速 m/s	起日	25日	18日	28日	6日	27日	1日	31日	9日	20日	5日	21日	15日	4月6日	1月12日			H19年3月20日		
	最多風向	静穏	静穏	静穏	静穏	静穏	静穏	静穏	静穏	静穏	静穏	静穏	静穏	静穏	静穏					
	平均	1.9	1.5	1.6	1.7	1.3	1.3	0.9	1.0	0.9	1.3	1.1	1.2	1.3	1.3	2.18	S61年	0.31	S39年	2.0
	平均最大	8.2	8.2	7.6	7.8	5.8	7.1	6.1	5.6	8.8	10.0	6.8	9.2	10.0	10.0	21.0				
	その風向	北西	北西	北西	北西	南	西	南	南南東	東北東	東北東	北西	北西	東北東	南南東					
	起日	24日	1日	8日	27日	8日	17日	26日	16日	10日	12日	12日	31日	10月12日	10月1日	S34年9月27日				
降水 mm	瞬間最大	17.3	16.2	15.7	16.7	12.6	14.5	12.7	12.9	19.3	22.0	14.1	19.3	22.0	20.6	31.0				
	その風向	北西	西北西	北西	西北西	東北東	西北西	東北東	南南東	北東	東北東	西北西	北西	東北東	南東					
	起日	11日	23日	8日	27日	21日	17日	6日	16日	10日	12日	12日	31日	10月12日	10月1日	S47年8月3日				
	合計	4.0	16.0	62.5	87.0	75.5	174.5	120.5	68.0	85.0	442.0	87.5	15.0	1237.5	860.0	1746.5	H3年	694.5	S48年	1240.6
降雪量 cm	日最大	4.0	12.5	27.5	30.0	64.0	41.0	27.0	11.5	31.0	260.5	38.5	7.5	260.5	41.5	260.5				
	起日	31日	28日	11日	30日	21日	10日	4日	15日	9日	12日	22日	23日	10月12日	7月28日	R1年10月12日				
	合計	0.0	1.0	—	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	20.0	95.6	S59年		18.1	
天気 9時	日最大	0.0	1.0	—	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	18.0	22.0				
	起日	26日	9日	—	10日	—	—	—	—	—	—	—	—	2月9日	1月22日	H10年1月8日				
天気	晴	27	16	20	20	20	13	10	20	17	15	21	17	216	232	241	H23年	176	H10年	209.4
	曇	4	9	8	7	9	10	13	6	12	9	7	10	104	96	143	S44年	85	H24年	117.6
	雨	0	1	3	3	2	7	8	5	1	7	2	2	41	36	51	S31年	25	S59年	35.9
	雪、みぞれ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	7	S62年	0	1.7	
	霧	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	5	S49年	0	0.9	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
降雨日(≥1mm)	1	2	7	10	4	13	16	13	8	14	6	2	96	86	142	S34年	75	S53年	97.5	
雨日数	2	4	13	15	10	17	26	19	16	23	11	9	165	144	190	H10年	100	S32年	166	
雪日数	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7	25	S59年	0		6.4	
火災警報発令回数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	S45年	0		0.4	

観測開始日 昭和30年 5月 1日

観測所 足利市河南消防署南分署(足利市上渋垂町1223番地)

位置 北緯36度18分2秒 東経139度28分44秒

観測機器 梶日本エレクトリック・インスルメント社製 気象観測システム FWS-4800型
(風向計、瞬間風速計、温度計、湿度計、雨量計、気圧計)

火 災 編

火災発生状況総括表

(31. 1. 1 ~ 元. 12. 31)

区分		単位	合計	月 別											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火 災 件 数	合 計	件	43	2	6	3	10	5	2	3	2	1	1	5	3
	建 物		19	2	3	2	4	1		2		1		3	1
	林 野		4			1	1	1			1				
	車 自動車		4								1		1	2	
	両 鉄道														
	そ の 他		16		3		5	3	2	1					2
	爆 発														
焼 損 棟 数	合 計	棟	35	2	6	9	7	1		2		3		4	1
	全 燃		21		3	7	4			1		3		2	1
	半 燃		1					1							
	部 分 燃		8	1	2	1	3								1
	ぼ や		5	1	1	1				1					1
建物焼損床面積		m ²	1,928		337	601	344	2		80		85		346	133
建物焼損表面積			91	3	34	22	32								
林野焼損面積		a	979		4	969	1	5							
死 者		人	3				1			2					
負 傷 者			7			1	4			1					1
爆 発	死 者														
	負 傷 者														
り 災 世 帯 数	合 計	世帯	14	2		1	3			2		1		3	2
	全 損		11			1	3			1		1		3	2
	半 損														
	小 損		3	2						1					
り 災 人 員		人	31	4		2	6			4		2		8	5
爆 発	り 災 世 帯 数	世帯													
	り 災 人 員	人													
損 害 額	合 計	千円	121,025	88	73,434	22,571	12,342	24		803	650	1,616	68	6,541	2,888
	建 建築物		67,097	85	43,346	8,730	7,276	9		688		1,281		3,556	2,126
	物 収容物		38,843	3	29,948	865	5,015			115		335		1,801	761
	林 野		12,960			12,960									
	車 両		1,916			14					650		68	1,184	
	そ の 他		209		140	2	51	15							1
	爆 発														

(注) 1 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

2 火災が2種以上にわたった場合は、件数は火災報告取扱要領に基づいて計上し、損害額はそれぞれの種別の損害額に計上した。

過去5年間の火災発生状況

区分		単位	令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	5年間の平均
火災件数	合計	件	43	42	35	42	45	41
	建物		19	29	23	24	21	23
	林野		4	2	1	2	1	2
	車両		4	2	2	7	4	4
	鉄道							
	その他		16	9	9	9	19	12
	爆発							
焼損棟数	合計	棟	35	42	25	35	23	32
	全焼		21	13	4	9	4	10
	半焼		1	1	2	2	1	1
	部分焼		8	11	12	14	7	10
	ぼや		5	17	7	10	11	10
建物焼損床面積		m ²	1,928	1,831	574	775	294	1,080
建物焼損表面積			91	72	58	88	15	65
林野焼損面積		a	979	3		13	15	202
死者		人	3	4	1	2	3	3
負傷者			7	4	8	10	6	7
爆発	死者							
	負傷者							
り災世帯数	合計	世帯	14	28	15	32	11	20
	全損		11	8	3	6	1	6
	半損				1	1	1	1
	小損		3	20	11	25	9	14
り災人員		人	31	47	35	68	22	41
爆発	り災世帯数	世帯						
	り災人員	人						
損害額	合計	千円	121,025	63,843	34,481	117,227	29,973	73,310
	建物		67,097	48,983	22,324	33,026	18,162	37,918
	建築物							
	収容物		38,843	13,390	11,851	75,636	11,291	30,202
	林野		12,960		1			2,592
	車両		1,916	1,279	87	8,508	383	2,435
	その他		209	191	218	57	137	162
爆発								

(注) 1 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

2 火災が2種以上にわたった場合は、件数は火災報告取扱要領に基づいて計上し、損害額はそれぞれの種別の損害額に計上した。

3 平均値は、四捨五入を行っているため数値が整合しない場合がある。

4 延焼を受けた火災の面積・損害額は、火災報告要領に基づき計上したもの。

地区別火災発生状況

(31. 1. 1 ~ 元. 12. 31)

火 災 別	合 計	建 物 火 灾			林 野 火 災			車 両 火 灾			そ の 他 火 灾			爆 発	出 火 率	
		件 数	燒 損 面 積		件 数	燒 損 面 積	損 害 額	件 数	自 動 車 (台)	鐵 道	損 害 額	件 数	損 害 額			
			損 害 額	床 面 積												
件 数	千円	件	m ²	m ²	件	a	千円	件	台	道	千円	件	千円	件	千円	
合 計	43	121,025	19	1,928	91	105,940	4	979	12,960	4	7	1,916	16	209		2.9
旧市内	5	1,658	2	65	35	1,607	1	1					2	51		2.0
毛 野	1												1			0.7
山 辺	6	1,619	3	85		1,619	1						2			2.9
三 重	1	2,888	1	133		2,887								1		1.2
山 前	2	5,173	1	31		5,173							1			1.5
北 郷	3	236	1	19		168							1			2.3
名 草	2	27,213	1	734	22	13,349	1	950	12,960		2		904			11.8
富 田	6	130					1	5		1	1		130	4		14.4
矢場川	1												1			2.3
御 厨	2	150											1			1.4
筑 波	3	5,605	3	250		5,605										8.5
久 野	2	1,507	1	176		857							1			10.5
梁 田	1												1			2.2
三 和	4	73,630	4	348	34	73,476		23			1		14	140		10.7
葉 鹿	2	818	1	80		803							1	15		2.8
小 俣	2	398	1	7		396							1	2		3.0

(注) 1 火災が2種以上にわたった場合は、件数は火災報告取扱要領に基づいて計上し、損害額はそれぞれの種別の損害額に計上した。

2 延焼を受けた火災の面積・損害額は、火災報告要領に基づき計上したもの。

分団別火災発生状況

(31. 1. 1~元. 12. 31)

火 災 別 分 団 別	合 計		建 物 火 災			林 野 火 灾			車 両 火 灾			そ の 他 火 灾		爆 発						
	件 数 件	損 害 額 千円	件 数 件			焼 損 面 積 床面積 m ²	燒 損 面 積 表面積 m ²	損 害 額 千円	件 数 件	燒 損 面 積 a	損 害 額 千円	件 数 件		自 動 車 (台)	鐵 道	損 害 額 千円	件 数 件	損 害 額 千円	件 数 件	損 害 額 千円
			件 数 件	損 害 額 千円	件 数 件	損 害 額 千円	件 数 件					件 数 件	損 害 額 千円	件 数 件	損 害 額 千円	件 数 件	損 害 額 千円			
合 計	43	121,025	19	1,928	91	105,940	4	979	12,960	4	7		1,916	16	209					
第1分団区 域	3	1,657	2	65	35	1,607	1	1							50					
第2分団区 域	1	1												1	1					
第3分団区 域	2													2						
第4分団区 域	1						1													
第5分団区 域	5	1,619	3	85		1,619								2						
第6分団区 域	1	2,888	1	133		2,887								1						
第7分団区 域	2	5,173	1	31		5,173								1						
第8分団区 域	3	236	1	19		168				1	1		68	1						
第9分団区 域	2	27,213	1	734	22	13,349	1	950	12,960	2			904							
第10分団区 域	6	130					1	5		1	1		130	4						
第11分団区 域	1													1						
第12分団区 域	2	150								1	1		150	1						
第13分団区 域	3	5,605	3	250		5,605														
第14分団区 域	2	1,507	1	176		857				1	1		650							
第15分団区 域	1													1						
第16分団区 域	2	818	1	80		803								1	15					
第17分団区 域	1	398	1	7		396								2						
第18分団区 域	3	73,609	3	344	34	73,455		19		1			14		140					
第19分団区 域	2	21	1	4		21		4						1						

(注) 1 火災が2種以上にわたった場合は、件数は火災報告取扱要領に基づいて計上し、損害額はそれぞれの種別の損害額に計上した。

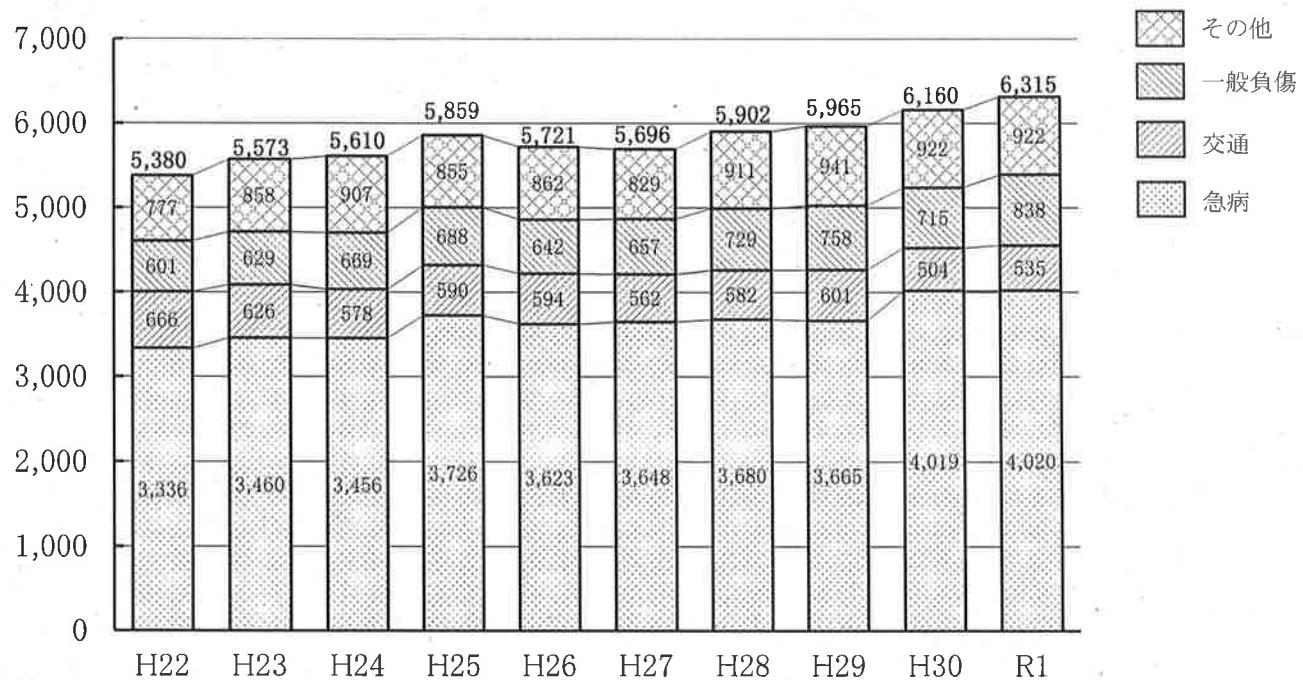
2 延焼を受けた火災の面積・損害額は、火災報告要領に基づき計上した。

出火原因別火災発生状況

区分	令和元年 (件)	火 灾 件 数						平成 30 年 (件)	平成 29 年 (件)	平成 28 年 (件)	平成 27 年 (件)
		建 物 火 災	林 野 火 災	計	車 両 火 災	のそ 火の 災他					
					自 動 車	鐵 道					
合 計	43	19	4	4	7		16	42	35	42	45
た ば こ	5	2	1				2	6	6	2	7
こ ん ろ	1	1						4	2	4	2
か ま ど											
風 呂 か ま ど	1	1							1		
炉									1		
燒 却 炉	1	1									
ス ト ー ブ	2	2			2				2	1	
こ た つ	1	1									
ボ イ ラ 一											
煙 突 ・ 煙 道	1	1								1	1
排 気 管	2			2	2			1		2	1
電 気 機 器	1	1						1	3	2	1
電 气 装 置										1	
電 灯 ・ 電 話 の 配 線	2	1					1	3	1	1	2
内 燃 機 関											
配 線 器 具	1						1				3
火 遊 び	1						1				1
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー									1	1	
た き 火	7	1	1		1		5	3	6	2	3
溶 接 機 ・ 溶 断 機									1		
灯 火									1		
衝 突 火 花											
取 灰	2	2								1	
火 入 れ	1	1									
放 火	3						3	6	2	5	3
放 火 の 疑 い	3	1	1				1	4		8	4
そ の 他	4	1		2	2		1	7	5	8	13
不 明 ・ 調 査 中	4	2	1				1	7	3	3	4

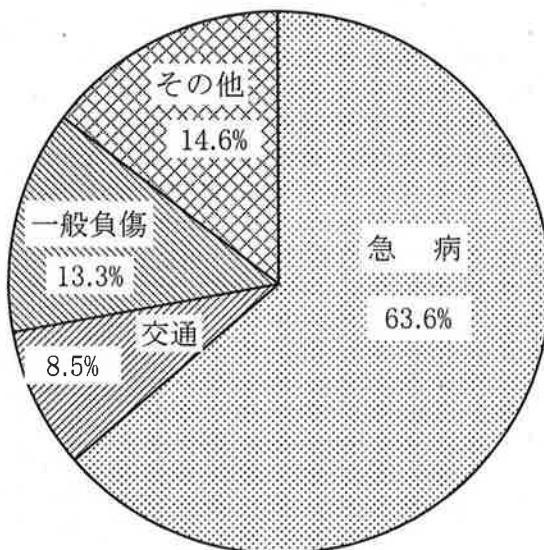
救急編

救急出動件数(10年間の推移)

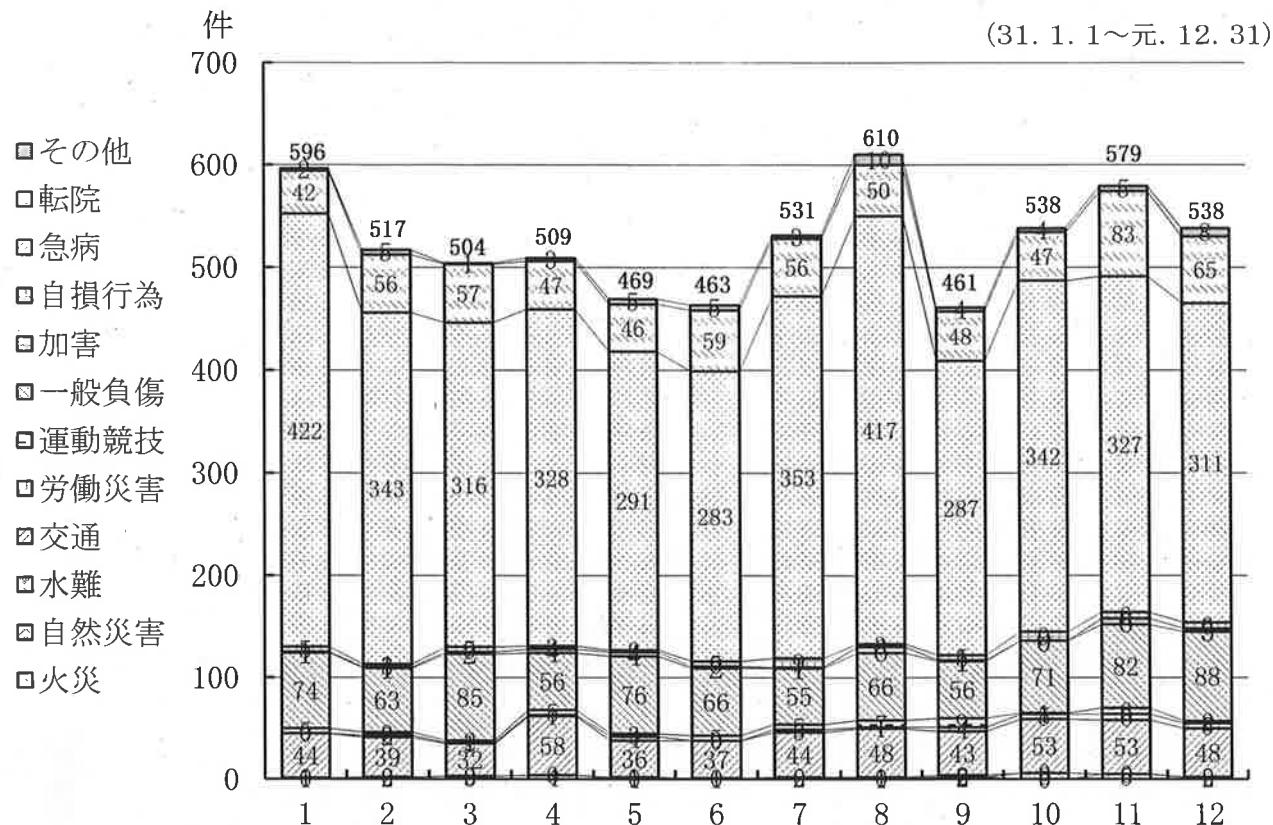


区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
急病	3,336	3,460	3,456	3,726	3,623	3,648	3,680	3,665	4,019	4,020
交通	666	626	578	590	594	562	582	601	504	535
一般負傷	601	629	669	688	642	657	729	758	715	838
その他	777	858	907	855	862	829	911	941	922	922
合計	5,380	5,573	5,610	5,859	5,721	5,696	5,902	5,965	6,160	6,315

救急出動内訳(令和元年中)



月別事故種別救急出動件数



(31. 1. 1~元. 12. 31)

月別 事故種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	1	2	3	4	1	1	2	1	2	0	5	2	24
自然災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
水難	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	4
交通	44	39	32	58	36	37	44	48	43	53	53	48	535
労働災害	0	2	1	1	4	0	3	1	4	5	6	5	32
運動競技	5	3	2	5	3	5	5	7	9	1	6	2	53
一般負傷	74	63	85	56	76	66	55	66	56	71	82	88	838
加害	1	1	2	4	4	2	1	6	1	0	6	3	31
自損行為	5	3	5	3	2	5	9	3	5	9	6	6	61
急病	422	343	316	328	291	283	353	417	287	342	327	311	4,020
転院	42	56	57	47	46	59	56	50	48	47	83	65	656
その他	2	5	1	3	5	5	3	10	4	4	5	8	55
合計	596	517	504	509	469	463	531	610	461	538	579	538	6,315

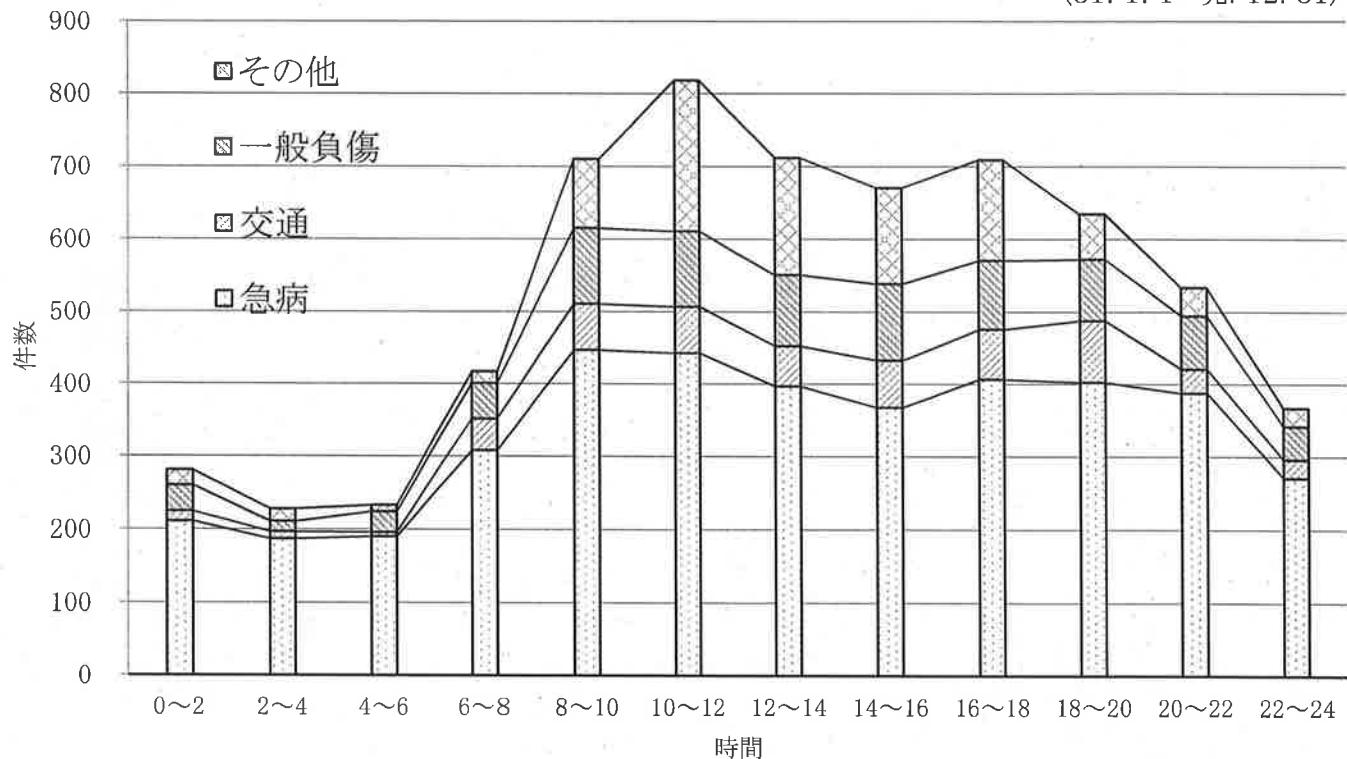
曜日別出動件数

(31. 1. 1～元. 12. 31)

区分	日	月	火	水	木	金	土	合計
急病	604	642	570	536	544	569	555	4,020
交通	73	79	87	71	75	90	60	535
一般負傷	135	115	125	100	134	112	117	838
その他	90	130	141	140	147	174	100	922
合計	902	966	923	847	900	945	832	6,315

時間別出動件数

(31. 1. 1～元. 12. 31)



時間別	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	合計
事故種別	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	
急病	211	187	190	308	447	443	397	368	407	403	388	271	4,020
交通	14	10	6	44	64	64	56	65	69	85	33	25	535
一般負傷	35	14	28	49	104	104	98	106	95	85	74	46	838
その他	21	17	9	16	95	207	161	132	138	62	39	25	922
合計	281	228	233	417	710	818	712	671	709	635	534	367	6,315

覚知別出動件数

(31. 1. 1～元. 12. 31)

覚知別	専用電話	加入電話	警察電話	かけつけ	その他	合計
出動件数	5,530	137	353	36	259	6,315
構成割合(%)	87.5	2.2	5.6	0.6	4.1	100

署別出動件数

(31. 1. 1~元. 12. 31)

年 署 別	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
中央署	1,706	1,689	1,715	1,714	1,711	1,699	1,829	1,781	1,856	1,908
東分署	531	559	702	715	726	652	582	637	653	730
西分署	1,020	1,030	1,035	1,083	1,096	1,070	1,063	1,075	1,120	1,102
河南署	1,288	1,369	1,350	1,488	1,369	1,423	1,481	1,491	1,520	1,573
南分署	835	926	808	859	819	852	947	981	1,011	1,002
合 計	5,380	5,573	5,610	5,859	5,721	5,696	5,902	5,965	6,160	6,315

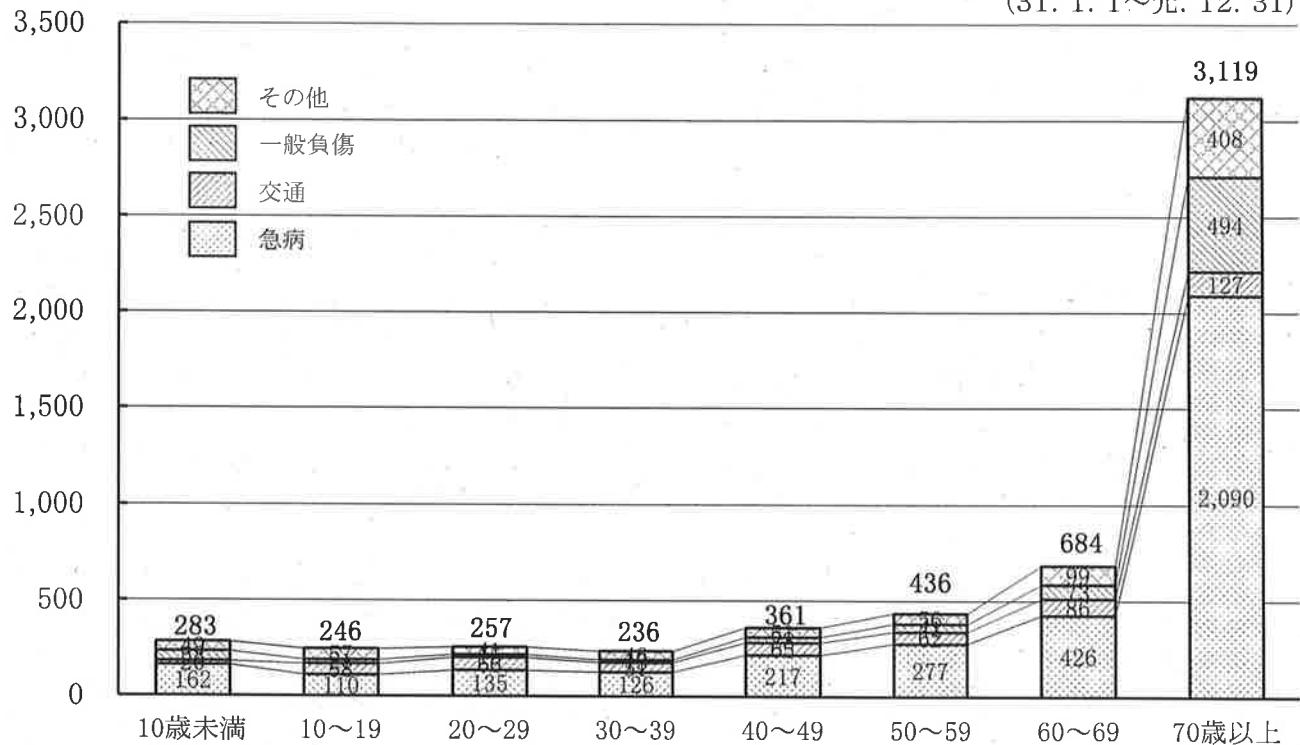
地区別出動件数

(31. 1. 1~元. 12. 31)

区 分	急 病	交 通	一 般 負 傷	そ の 他	合 計
旧市内	765	116	194	229	1,304
毛野	395	37	62	23	517
山辺	642	111	142	185	1,080
三重	266	28	67	124	485
山前	338	34	56	60	488
北郷	278	31	52	71	432
名草	36	3	11	7	57
富田	122	13	29	38	202
矢場川	79	7	16	25	127
御厨	373	45	68	41	527
筑波	92	10	15	18	135
久野	55	22	9	6	92
梁田	113	30	14	21	178
三和	118	8	27	12	165
葉鹿	202	28	38	35	303
小俣	146	10	37	23	216
市外	0	2	1	4	7
合 計	4,020	535	838	922	6,315

年齢別搬送人員

(31. 1. 1~元. 12. 31)



区分	10歳未満	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	合計
急病	162	110	135	126	217	277	426	2,090	3,543
交通	20	58	66	51	65	62	86	127	535
一般負傷	52	21	15	13	28	41	73	494	737
その他	49	57	41	46	51	56	99	408	807
合計	283	246	257	236	361	436	684	3,119	5,622

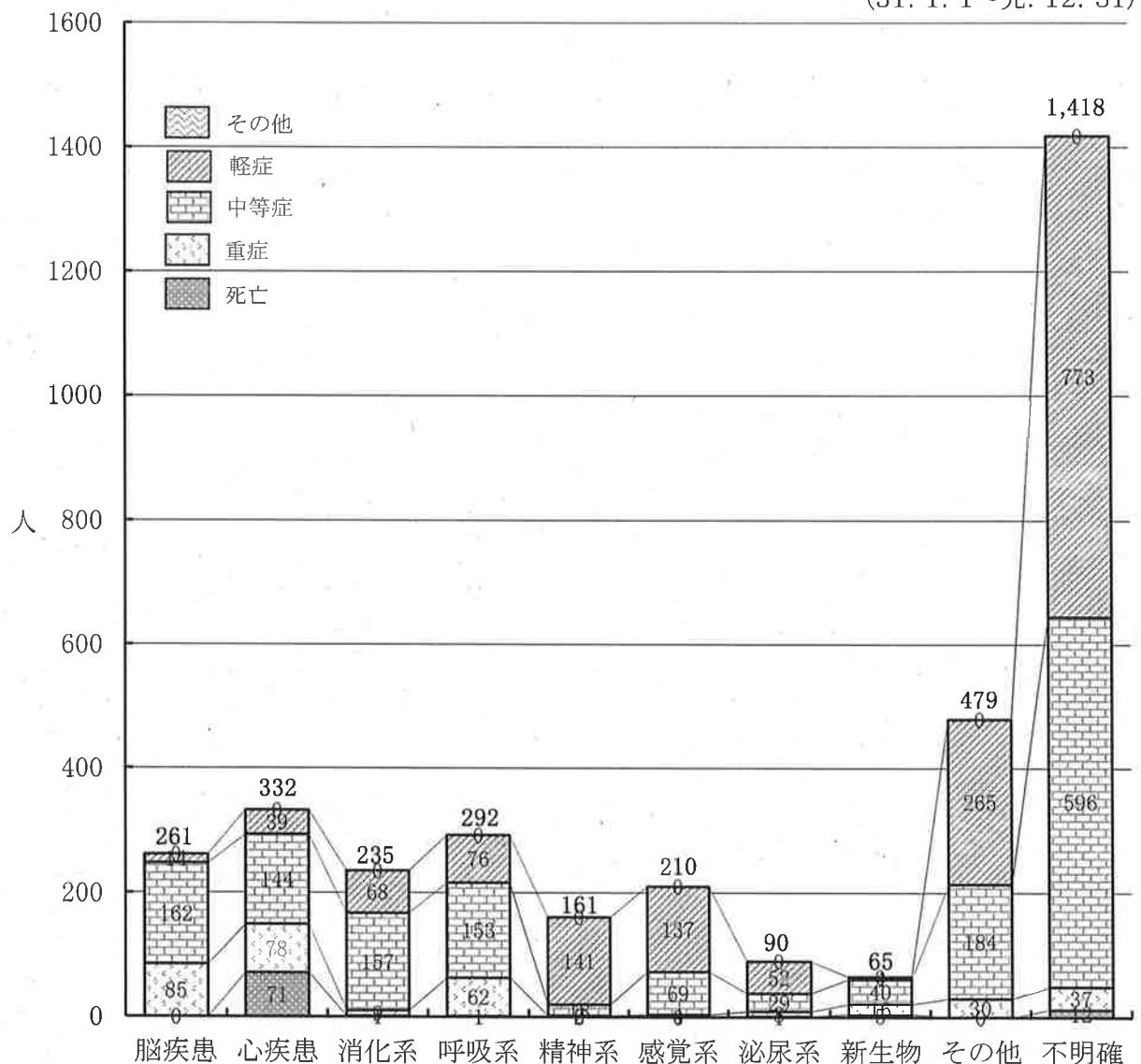
事故種別・傷病程度別搬送人員

(31. 1. 1~元. 12. 31)

事故種別 区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡	1	1	0	2	0	0	11	0	9	91	0	115
重症	1	0	0	16	3	0	24	1	2	331	131	509
中等症	1	2	0	95	9	11	270	1	14	1,552	483	2,438
軽症	5	1	0	422	20	37	432	19	13	1,569	42	2,560
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8	4	0	535	32	48	737	21	38	3,543	656	5,622

急病に係る疾病・傷病程度別搬送人員

(31. 1. 1~元. 12. 31)



疾病種類 区分	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	合計
死亡	0	71	1	1	0	0	1	5	0	12	91
重症	85	78	9	62	2	4	8	16	30	37	331
中等症	162	144	157	153	18	69	29	40	184	596	1,552
軽症	14	39	68	76	141	137	52	4	265	773	1,569
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	261	332	235	292	161	210	90	65	479	1,418	3,543

救急隊員の行った応急処置件数

(31. 1. 1～元. 12. 31)

区分		急 病	交 通	一 般 負 傷	そ の 他	合 計
応急処置	止 血	32	52	102	25	211
	固 定	54	232	215	40	541
	人 工 呼 吸	5	0	0	2	7
	心 肺 蘇 生	126	2	13	13	154
	酸 素 吸 入	955	26	48	279	1,308
	気 道 確 保	176	4	15	19	214
	保 温	44	1	9	25	79
	被 覆	28	91	201	35	355
	血 壓 測 定	3,336	525	701	749	5,311
	聽 診 器	1,894	273	255	293	2,715
救命処置	血中酸素飽和度測定	3,419	532	716	787	5,454
	心 電 図 測 定	2,913	218	415	548	4,094
	血 糖 測 定	100	0	1	1	102
	そ の 他	35	1	5	11	52
	除 細 動	12	0	0	0	12
	ラリンケ、アルマスク等	(29)	(0)	(3)	(3)	(35)
救命処置	気 管 挿 管	(3)	(0)	(4)	(1)	(8)
	輸 液 (CPA 前)	18	0	0	0	18
	輸 液 (CPA 後)	50	0	4	3	57
	アドレナリン投与	45	0	4	3	52
	ブドウ糖投与	10	0	0	0	10
	処 置 件 数	13,252	1,957	2,704	2,833	20,746
対 象 人 員		3,543	535	737	807	5,622

()内は気道確保に含まれる。

応急手当指導件数

(31. 1. 1～元. 12. 31)

講習区分	普通救命	上級救命	普 及 員	救 急 法							合 計
				自 防 災 治 訓 会 練	保 育 所 等	小 中 学 校	高 校	そ の 他 学 校	事 業 所	そ の 他	
実 施 回 数	31	0	1	6	16	31	5	4	25	18	137
受 講 人 員	832	0	12	696	206	865	157	134	525	424	3,851

(注)普通救命・上級救命・普及員は再講習を含む。

救 助 編

救助出動及び活動状況

(31. 1. 1 ~ 元. 12. 31)

区分	事故種別		火 災		交 通	水 難	自 風	事 機	事 建	酸 ガ	破 裂	事 そ の 他	合 計
	建 物	建 物 以 外	事 故	事 故	然 水 災 害	に よ る	機 械 に よ る	物 等 に よ る	ガ 欠 及 故 び	ガ 欠 及 故 び	ガ 欠 及 故 び	ガ 欠 及 故 び	
出 動 件 数	16	6	33	4	34	6	12	1			10	122	
活 動 件 数	12	3	18	2	29	4	10				5	83	

署別出動状況

(31. 1. 1 ~ 元. 12. 31)

事故種別		火 災		交 通	水 難	自 風	事 機	事 建	酸 ガ	破 裂	のそ 事 の 他	合 計
署所別		建 物	建 物 以 外	事 故	事 故	然 水 災 害	に よ る	物 等 に よ る	ガ 欠 及 故 び	ガ 欠 及 故 び	ガ 欠 及 故 び	ガ 欠 及 故 び
中央消防署	中 央	5	1	10		9	2	5	1		2	35
	西	6		1	1			3			5	16
	東		1	5		18	1	1				26
小 計		11	2	16	1	27	3	9	1		7	77
河南消防署	河 南	1	2	9	1	5	2	2			2	24
	南	4	1	7	1	2	1	1			1	18
小 計		5	3	16	2	7	3	3			3	42
市 外			1	1	1							3
合 計		16	6	33	4	34	6	12	1		10	122

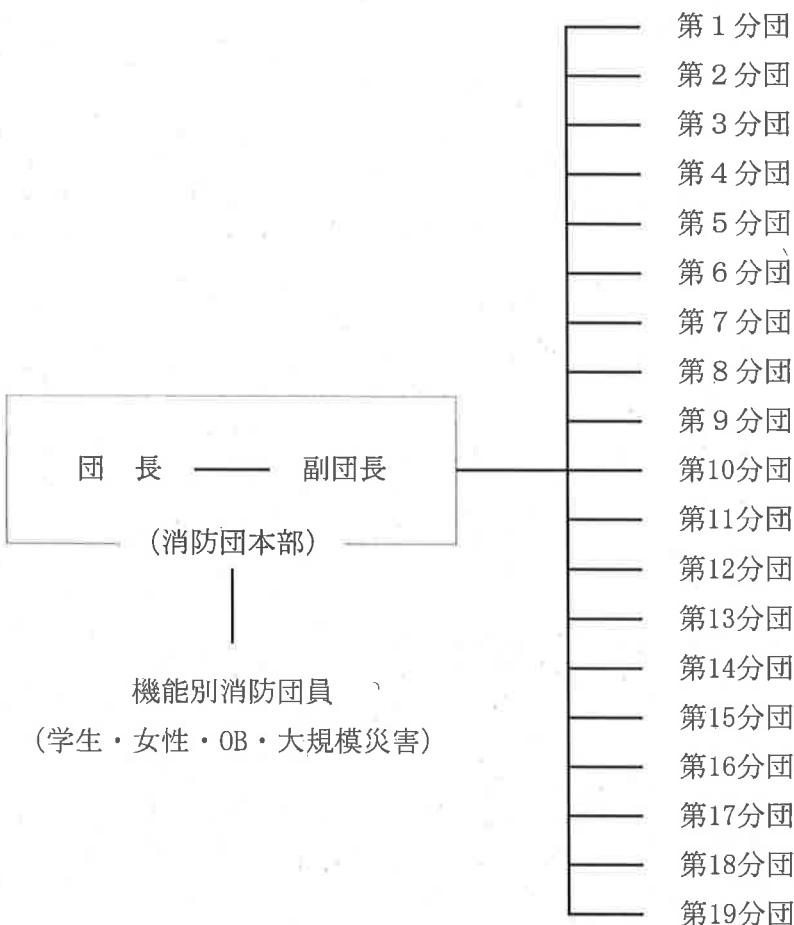
月別出動状況

(31.1.1~元.12.31)

事故種別 月別	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	事 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ 欠 ス 事 及 び 故 び	破 裂 事 故	事 そ の 他 事 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
1 月	1			1				1			1 4
2 月	2			3					1		2 8
3 月	2	1	4					1	1		9
4 月	4			3				1			2 10
5 月	1			1				1			1 4
6 月			1	2				1			4
7 月	1			2				1			4
8 月			1	3	1			1	4		1 11
9 月	1	1	3	2			2				9
10月				4	1	34	2				41
11月	3	2	4				1	1			1 12
12月	1		3							2	6
合 計	16	6	33	4	34	6	12	1		10	122
平成30年	22	3	34	7		3	13			30	112
平成29年	14	4	39	1		6	21			19	104
平成28年	18	8	35	4			29			25	119
平成27年	17	7	45	1		2	12			22	106
平成26年	25	6	32	6		2	5			21	97

消 防 団 編

消防団の組織



構成(定員)

区分	階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
団編制		1	3	19	19	38	57	437	574

団員報酬等

【基本消防団員】

職制別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	副部長	班長	団員
報酬(年額)	187,000	134,000	99,000	77,000	67,000	56,000	51,000	48,000

・機関員(1箇分団3名)には年5,000円を加給する。

・火災及び訓練その他の出場旅費1人1回2,000円

【機能別消防団員】

職制別	団員
報酬(日額)	2,000

・出場旅費は支給しない。

その他

団本部交付金は、年460,000円

分団交付金は、1箇分団年160,000円+人数割(6,000円/1人)

消防ポンプ自動車購入、修繕、燃料、建物修理及び被服費などは市費で賄っている。

消防団員の在職年数及び年齢

在職年数別階級別

(2. 4. 1現在) (人)

階級別 在職年数	團 長	副團長	分團長	副分團長	部 長	班 長	團 員	計
5年未満						1	169	170
5年～9年				1	2	6	94	103
10年～14年			2	2	8	18	70	100
15年～19年			4	5	7	17	25	58
20年～24年	1	1	4	5	12	13	9	45
25年～29年			5	3	8	2	4	22
30年以上		2	4	3	1		3	13
計	1	3	19	19	38	57	374	511
平均在職年数(年)	24.0	31.0	23.4	21.5	19.7	16.0	7.5	10.6

年齢別階級別

(2. 4. 1現在) (人)

階級別 年 齢	團 長	副團長	分團長	副分團長	部 長	班 長	團 員	計
18歳以上～20歳未満							6	6
20歳以上～25歳未満							25	25
25歳以上～30歳未満							46	46
30歳以上～35歳未満						2	71	73
35歳以上～40歳未満					2	12	68	82
40歳以上～45歳未満			2	2	9	11	74	98
45歳以上～50歳未満		1	9	6	13	24	46	99
50歳以上～55歳未満	1		5	8	12	8	18	52
55歳以上～60歳未満		1	3	3	2		15	24
60歳以上～65歳未満		1					4	5
65歳以上							1	1
計	1	3	19	19	38	57	374	511
平均年齢(歳)	54.0	54.3	49.0	48.9	47.3	44.2	37.8	40.2

分団詰所の現況

(2. 4. 1現在)

区分 名 称	所 在 地	構 造	棟 数	建築面積 (m ²)	敷地面積 (m ²)	建築年月日
第 1 分 団	緑町1丁目6-3	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	294.89	H 3. 3.25
第 2 分 団	助戸3丁目518-18	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	520.09	H10.12.15
第 3 分 団	八幡町81-4	鉄骨造平家建	1	95.95	604.71	H12. 3.14
第 4 分 団	八幡町3丁目1-1	鉄骨造平家建	1	95.95	515.02	H14. 2.28
第 5 分 団	田中町924-1	壁式鉄筋コンクリート造平家建	1	61.60	246.33	S61. 3.28
第 6 分 団	五十部町327-3	鉄筋コンクリート造2階建	1	98.00	185.56	H 8.12.26
第 7 分 団	山下町1313-1	鉄骨造平家建	1	95.95	824.91	H19. 3.15
第 8 分 団	利保町3丁目7-5	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	338.15	H 4. 3. 6
第 9 分 団	名草中町1505	鉄骨造平家建	1	95.95	926.00	H24. 3.26
第 10 分 団	駒場町749-2	鉄筋コンクリート造平家建	1	72.25	686.62	S63.10.31
第 11 分 団	里矢場町2143	木造スレート瓦葺平家建	1	59.62	301.00	S58. 2.28
第 12 分 団	島田町793-1	鉄筋コンクリート造平家建	1	72.25	354.84	H 2. 3.20
第 13 分 団	小曾根町515	木造スレート瓦葺平家建	1	56.31	172.55	S53.10.28
第 14 分 団	久保田町236-2	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	446.94	H 5.12.13
第 15 分 団	福富町400-3	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	490.20	H 9.12.19
第 16 分 団	葉鹿町648-1	鉄骨造平家建	1	95.95	851.84	H29. 3.17
第 17 分 団	小俣町1510-1	鉄骨造平家建	1	95.95	1,142.20	H13. 3.15
第 18 分 団	松田町445-1	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	563.05	H 7. 2. 5
第 19 分 団 (松 田)	松田町2016-4	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	450.47	H 7.12.27
第 19 分 団 (小 俣)	小俣町3364-1	木造スレート瓦葺平家建	1	61.71	347.36	S58.12. 6

消防車両の配置状況

(2. 4. 1現在)

区分 名称	車名	型式	年式	出力 (kW)	登録番号	規格	登録年月日
第1分団	日野	TKG-XZU600E	2015	110	とちぎ800さ8326	CD-I型	H27.11.17
第2分団	日野	TKG-XZU600E	2012	110	とちぎ800さ7186	CD-I型	H24.11.2
第3分団	日野	TKG-XZU600E	2012	110	とちぎ800さ7187	CD-I型	H24.11.2
第4分団	三菱	KC-FE568B	1997	96	栃木88は4725	CD-I型	H 9.11.21
第5分団	日野	SKG-XZU600E	2012	110	とちぎ800さ6911	CD-I型	H24. 2.13
第6分団	トヨタ	BDG-XZU334	2009	110	とちぎ800さ6091	CD-I型	H21. 8.19
第7分団	日野	TKG-XZU600E	2014	110	とちぎ800さ7898	CD-I型	H26.11.10
第8分団	三菱	KC-FE538B改	1995	96	栃木88ね9494	CD-I型	H 7.11.21
第9分団	日野	SKG-XZU600E	2012	110	とちぎ800さ6912	CD-I型	H24. 2.13
第10分団	トヨタ	BDG-XZU334	2009	110	とちぎ800さ6092	CD-I型	H21. 8.19
第11分団	三菱	KC-FE538B改	1996	96	栃木88は2198	CD-I型	H 8.12. 4
第12分団	三菱	KC-FE568B	1997	96	栃木88は4726	CD-I型	H 9.11.21
第13分団	三菱	KC-FE538B改	1996	96	栃木88は2199	CD-I型	H 8.12. 4
第14分団	トヨタ	BDG-XZU334	2009	110	とちぎ800さ6093	CD-I型	H21. 8.19
第15分団	三菱	KC-FE538B改	1995	96	栃木88ね9495	CD-I型	H 7.11.21
第16分団	三菱	KC-FE568B	1997	96	栃木88は4727	CD-I型	H 9.11.21
第17分団	三菱	KC-FE538B改	1996	96	栃木88は2200	CD-I型	H 8.12. 4
第18分団	三菱	KC-FE568B	1997	96	栃木88は4728	CD-I型	H 9.11.21
第19分団 (松田)	三菱	KC-FE538B改	1995	96	栃木88ね9496	CD-I型	H 7.11.21
第19分団 (小俣)	三菱	KC-FE538B改	1996	96	栃木88は2201	CD-I型	H 8.12. 4

足利市消防の歌

明 三田 忠
本 京 静
静・作曲

(一)

渡良瀬の流れとともに
伝統の歴史はかかる
団結の誓もかたく
消防の使命つらぬく
おわれらわれら足利 足利の消防

(二)

響笛の音響かせて
救急車人命救助 おお
西ひがし神速果敢 おお
寸秒の時を刻んで おお

事あらば身命賭して
災害の鎮めにむかう
鍛えたる精神と技を
寸秒の時を刻んで
おわれらわれら足利 足利の消防

おわれらわれら足利 足利の消防
おわれらわれら足利 足利の消防
おわれらわれら足利 足利の消防
おわれらわれら足利 足利の消防
おわれらわれら足利 足利の消防

足利市消防の歌

Moderato

mf

1. わたらせのながれとともに でんとうのれきしあはおーるー
2. サイレンのおとひびかせて きゅうきゅうしやじんめいきゅうーじょー_一
3. ことあらばしんめいとして さいがいのしづめにむかーうー

f

おう だんけつのちかいもかたく しょうぼうのしめいつらぬーくー
おう にしひがし しんそくかかん すんびょうのときをきざんーでー
おう きたえたる こころとわざを はつきするときはいまぞーとー

おおーわれーら わーれらあしーーかーが あし かがの しょうぼう
おおーわれーら わーれらあしーーかーが あし かがの しょうぼう
おおーわれーら わーれらあしーーかーが あし かがの しょうぼう

編集・発行 足利市消防本部 消防総務課

〒326-0807 栃木県足利市大正町863

TEL 0284-41-3197

FAX 0284-42-9920